

平成25・26年度

広島県幼児教育調査の結果



広島県教育委員会
平成27年3月

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の設計	1
3	調査実施園・校数及び集計対象者数	1
4	調査の構成	1
II	調査結果の概要	2
1	調査から分かったこと	2
III	調査結果	3
1	幼児・児童の育ちの状況	3
2	基本的な生活習慣の定着状況	11
3	幼児の指導に関する状況	14
4	幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の連携	17
5	幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の交流	19
6	幼稚園・保育所（園）・認定こども園との交流	20
7	子育ての支援	20
8	「教員・保育士等」の研修	21
9	学校評価	23
10	学校生活への不適應の状況	25



I 調査の概要

1 調査の目的

- 小学校入学前の年長児の育ちの状況（以下「幼児の育ちの状況」とする。）や幼稚園・保育所（園）・認定こども園における教育課程・保育課程に基づく教育・保育の実施状況を把握する。
- 幼児期の教育に関する保護者の意識や家庭での教育の状況を把握する。
- 幼保小の連携・交流や教職員の研修，小学校生活への不適応に対する状況等を把握する。
- 今後の行政施策の改善・充実に資するための基礎資料とする。

2 調査の設計

(1) 調査対象

平成 22 年度幼児教育調査実施園・所を基本とし，今回調査から認定こども園（幼保連携型）を追加した。抽出した幼稚園・保育所（園）・認定こども園の年長児のクラス（年長児のクラスが複数ある場合は 1 クラスを任意に選定）全員を対象とした。

なお，回答者は幼稚園・保育所（園）・認定こども園の園長・所長・幼稚園教諭・保育士等（以下「教員・保育士等」とする。）及び対象幼児の保護者とした。

小学校調査の回答者は校長及び第 1 学年主任（以下，「小学校教員」とする。）とした。

(2) 調査実施期間

平成 26 年 3 月 4 日（火）～ 3 月 18 日（火）〔幼稚園・保育所（園）・認定こども園調査〕

平成 26 年 4 月 17 日（木）～ 5 月 15 日（木）〔小学校調査〕

3 調査実施園・校数及び集計対象者数

幼稚園		保育所		認定こども園		合計		小学校
園数	園児数	所数	園児数	園数	園児数	園・所数	園児数	校数
41	326 人	41	222 人	4	71 人	86	619 人	88

4 調査の構成

(1) 幼稚園・保育所（園）・認定こども園調査（回答者：保育者）

調査種別	調査の略称
幼児の育ちの状況について（観察調査） 〔5 領域 16 項目について 4 段階で評定〕	「教員・保育士等」 観察調査
重点的に取り組んでいる内容について（質問紙調査） 〔5 領域について，領域ごとに 2 項目を選択〕	「教員・保育士等」 指導調査

(2) 保護者調査（回答者：保護者）

調査種別	調査の略称
幼児の育ちの状況について（観察調査） 〔5 領域 16 項目について 4 段階で評定〕	保護者観察調査
基本的な生活習慣の定着状況について（質問紙調査） 〔7 項目について 4 段階～ 6 段階で評定〕	生活習慣定着度調査
家庭教育で特に大切にしていること（質問紙調査） 〔5 領域 16 項目から 5 項目を選択〕	保護者指導調査

(3) 小学校調査（回答者：第 1 学年主任）

調査種別	調査の略称
小学校第 1 学年児童の育ちの状況（以下，「児童の育ちの状況」とする。）について（観察調査） 〔5 領域 16 項目について 4 段階で評定〕	「小学校教員」観察調査

Ⅱ 調査結果の概要

1 調査から分かったこと

今回の調査では、幼稚園・保育所（園）・認定こども園の「教員・保育士等」、保護者及び「小学校教員」を対象に幼児・児童の育ちの状況についての調査を行った。

幼児の育ちの状況については、以下の2点において、平成22年度調査結果と同様の傾向となった。

- ① 「自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。」「身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、世話をしたりする。」「身近な物を大切に扱い、自分の持ち物を整頓する。」の項目は、「教員・保育士等」・保護者ともに平均点が低い。

※ P3 図1, P4 図2 参照

- ② 平成22年度調査と比較すると、基本的な生活習慣の定着については、全ての項目において改善傾向にある。しかし、生活のリズムをつくる上で大切な、朝気持ちよく起きることについては、定着が十分とはいえない。

※ P11 2 基本的な生活習慣の定着状況参照

児童の育ちの状況について、特に注目される点は、以下の2点である。

- ① 幼児の育ちの状況と同様に、「自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。」「身近な物を大切に扱い、自分の持ち物を整頓する。」の項目の平均点が低い。
- ② 「人の話を注意して聞き、相手に分かるように話そうとする。」「よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。」の項目についても平均点が低い。

※ P5 図3 参照



Ⅲ 調査結果

1 幼児・児童の育ちの状況（「教員・保育士等」、保護者及び「小学校教員」観察調査）

(1) 「教員・保育士等」、保護者及び「小学校教員」観察調査の平均点

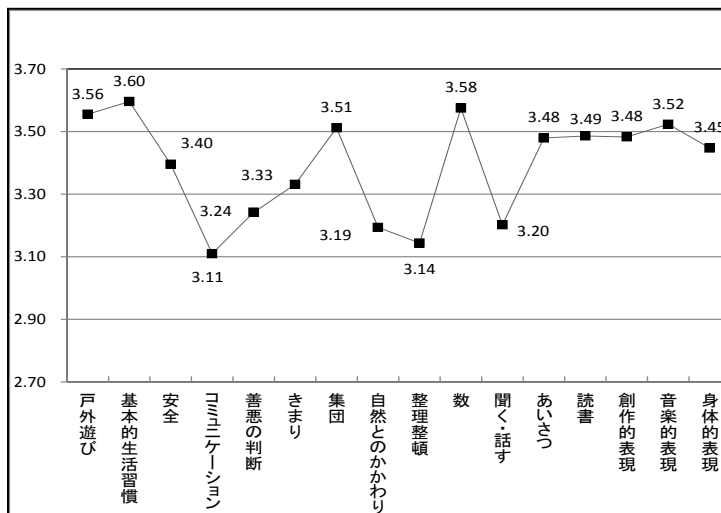
（評定全体の傾向を見るため、4段階評定を「よくあてはまる」…4点、「ややあてはまる」…3点、「あまりあてはまらない」…2点、「まったくあてはまらない」…1点と得点化して平均点を算出した。）

① 「教員・保育士等」観察調査の平均点

- 平均点の上位から3項目は、「基本的生活習慣」「数」「戸外遊び」である。
- 平均点の下位から3項目は、「コミュニケーション」「整理整頓」「自然とのかかわり」である。

【表1 保育者観察調査の項目ごとの平均点】 全体の平均点・・・3.20

領域	項目	調査内容	平均点	領域	項目	調査内容	平均点
健康	戸外遊び	積極的に戸外に出て遊ぶ。	3.56	言葉	聞く・話す	人の話を注意して聞き、相手に分かるように話そうとする。	3.20
	基本的生活習慣	身の回りの清潔、衣服の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする。	3.60		あいさつ	親しみをもって日常のあいさつをする。	3.48
	安全	危険なものに近寄ったり、危険な場所で遊ばないなど、安全に気を付けて遊ぶ。	3.40		読書	絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、様々に想像して楽しむ。	3.49
人間関係	コミュニケーション	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。	3.11	表現	創作的表現	いろいろな素材や用具を利用して、工夫して描いたり作ったりすることを楽しむ。	3.48
	善悪の判断	よいことや悪いことがあることに気付く、考えながら行動する。	3.24		音楽的表現	みんなといっしょに聴いたり、歌ったり、踊ったり、楽器を使ったりする楽しさを味わう。	3.52
	きまり	友達との遊びの中で、きまりの必要性を知り、守ろうとする。	3.33		身体的表現	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じたりして楽しむ。	3.45
	集団	友達と積極的にかかわって遊ぶ。	3.51				
環境	自然とのかかわり	身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付く、いたわったり、世話をしたりする。	3.19				
	整理整頓	身近な物を大切に扱い、自分の持ち物を整頓する。	3.14				
	数	簡単な数を数えたり、数で比べたり、順番を言ったりする。	3.58				



評定全体の傾向を見るため、4段階評定を次のように得点化して平均点を算出した。
「よくあてはまる」…4点
「ややあてはまる」…3点
「あまりあてはまらない」…2点
「まったくあてはまらない」…1点

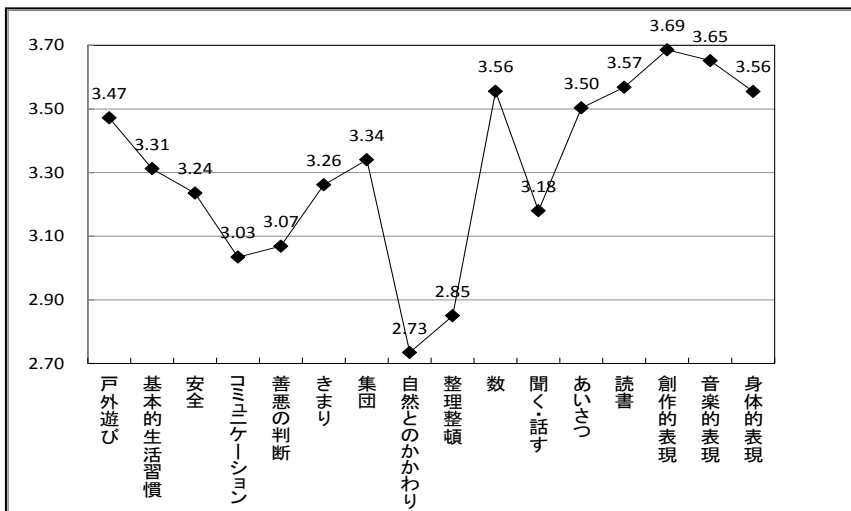
【図1 「教員・保育士等」観察調査の平均点の分布】

② 保護者観察調査の平均点

- 平均点の上位から3項目は、「創作的表現」「音楽的表現」「読書」である。
 ■ 平均点の下位から3項目は、「自然とのかかわり」「整理整頓」「コミュニケーション」である。

【表2 保護者観察調査の項目ごとの平均点】 全体の平均点・・・3.31

領域	項目	調査内容	平均点	領域	項目	調査内容	平均点
健康	戸外遊び	外で元気よく体を動かして遊ぶ。	3.47	言葉	聞く・話す	人の話を聞き、相手に分かるように話そうとする。	3.18
	基本的な生活習慣	自分の身の回りのことは自分でする。	3.31		あいさつ	家族や周りの人に「おはよう」や「ありがとう」などのあいさつをする。	3.50
	安全	危険なものや危険な場所が分かり、気を付ける。	3.24		読書	絵本を喜んで見たり聞いたりする。	3.57
人間関係	コミュニケーション	自分の思いを相手に分かるように伝え、相手の思いを理解しようとする。	3.03	表現	創作的表現	絵をかいたり、はさみやのりなどを使ってものを作ったりして遊ぶ。	3.69
	善悪の判断	よいこと・悪いことが分かり、悪いことをしない。	3.07		音楽的表現	楽しんで歌を聴いたり、歌ったり、音楽に合わせて踊ったりする。	3.65
	きまり	きまりを守って遊ぶ。	3.26		身体的表現	ごっこ遊びを楽しんだり、何かになりきって遊んだりする。	3.56
	集団	日ごろ、友達とよく遊んでいる。	3.34				
環境	自然とのかかわり	身近な動物や植物などの世話をする。	2.73				
	整理整頓	自分の使ったおもちゃなどを片付け、持ち物を大切にする。	2.85				
	数	数に興味をもち、数えたり、比べたり、順番を言ったりする。	3.56				



評定全体の傾向を見るため、4段階評定を次のように得点化して平均点を算出した。
 「よくあてはまる」…4点
 「ややあてはまる」…3点
 「あまりあてはまらない」…2点
 「まったくあてはまらない」…1点

【図2 保護者観察調査の平均点の分布】

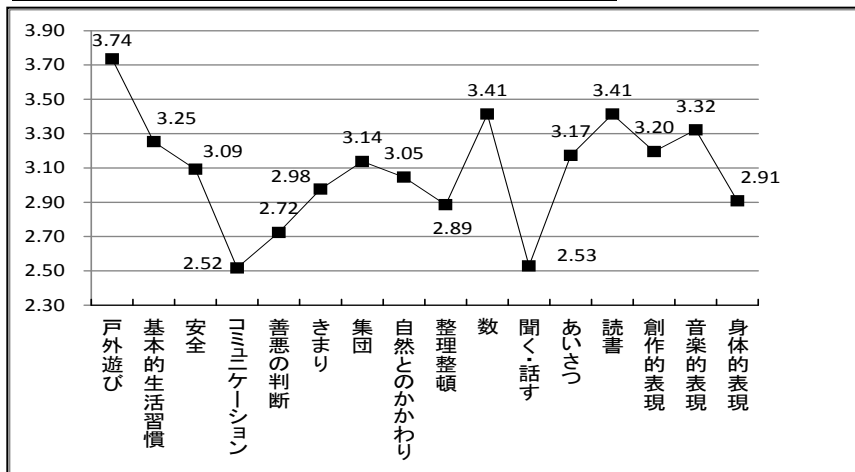


③ 「小学校教員」 観察調査の平均点

- 平均点の上位から3項目は、「戸外遊び」「数」「読書」である。
- 平均点の下位から3項目は、「コミュニケーション」「聞く・話す」「善悪の判断」である。

【表3 「小学校教員」 観察調査の項目ごとの平均点】 全体の平均点・・・3.08

領域	項目	調査内容	平均点	領域	項目	調査内容	平均点
健康	戸外遊び	積極的に戸外に出て遊ぶ。	3.74	言葉	聞く・話す	人の話を注意して聞き、相手に分かるように話そうとする。	2.58
	基本的生活習慣	身の回りの清潔、衣服の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする。	3.25		あいさつ	親しみをもって日常のあいさつをする。	3.17
	安全	危険なものに近寄ったり、危険な場所で遊ばないなど、安全に気を付けて遊ぶ。	3.09		読書	絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、様々に想像して楽しむ。	3.41
人間関係	コミュニケーション	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。	2.52	表現	創作的表現	いろいろな素材や用具を利用して、工夫して描いたり作ったりすることを楽しむ。	3.20
	善悪の判断	よいことや悪いことがあることに気付き、考えながら行動する。	2.72		音楽的表現	みんなと一っしょに聴いたり、歌ったり、踊ったり、楽器を使ったりする楽しさを味わう。	3.32
	きまり	友達との遊びの中で、きまりの必要性を知り、守ろうとする。	2.98		身体的表現	自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じたりして楽しむ。	2.91
	集団	友達と積極的にかかわって遊ぶ。	3.14				
環境	自然とのかかわり	身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、世話をしたりする。	3.05				
	整理整頓	身近な物を大切に扱い、自分の持ち物を整頓する。	2.83				
	数	簡単な数を数えたり、数で比べたり、順番を言ったりする。	3.41				

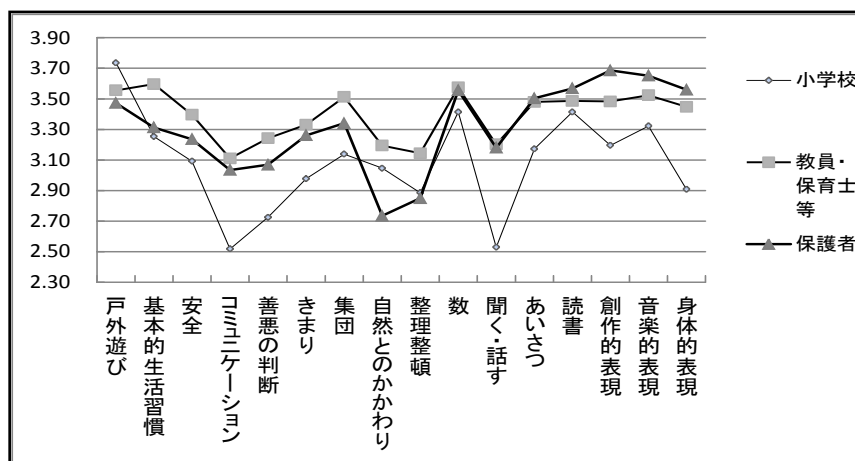


評定全体の傾向を見るため、4段階評定を次のように得点化して平均点を算出した。

- 「よくあてはまる」…4点
- 「ややあてはまる」…3点
- 「あまりあてはまらない」…2点
- 「まったくあてはまらない」…1点

【図3 「小学校教員」 観察調査の平均点の分布】

④ 「教員・保育士等」・保護者・「小学校教員」 観察調査の平均点の比較



【図4 観察調査の平均点の比較】

(2) 項目ごとの経年比較

「教員・保育士等」と保護者が行った観察調査について、項目ごとに平成 25・22・18・15 年度を比較して示した。

「教員・保育士等」調査、保護者調査ともに、「よくあてはまる」の割合が、平成 22 年度調査と比較して 5 ポイント以上減少した項目は、「善悪の判断」「聞く・話す」である。

※本報告書で使用している百分比 (%) は、有効回答数のうち、その設問に該当する回答者を母数として算出し、少数第 2 位を四捨五入して表示した。四捨五入の結果、数値の和が 100 にならない場合がある。

① 「教員・保育士等」観察調査の項目ごとの経年比較

ア 平成 25 年度調査の「よくあてはまる」の割合が、22 年度調査と比較して 5 ポイント以上増加したのは、「数」「創作的表現」「音楽的表現」「身体的表現」である。

イ 平成 25 年度調査の「よくあてはまる」の割合の上位 3 項目は、「基本的生活習慣」「数」「戸外遊び」である。

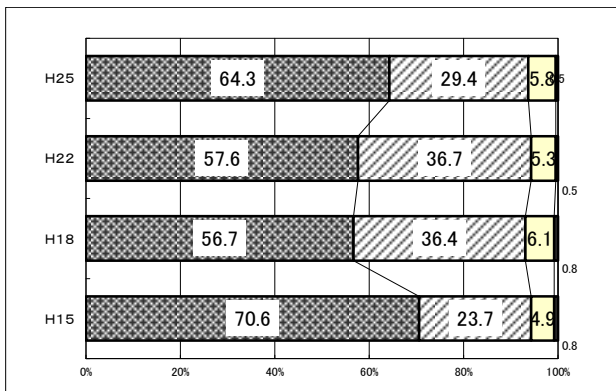
ウ 平成 25 年度調査の「よくあてはまる」の割合が、22 年度調査と比較して 5 ポイント以上減少したのは、「基本的生活習慣」「安全」「コミュニケーション」「善悪の判断」「聞く・話す」である。

エ 平成 25 年度調査の「よくあてはまる」の割合の下位 3 項目は、「コミュニケーション」「整理整頓」「聞く・話す」である。

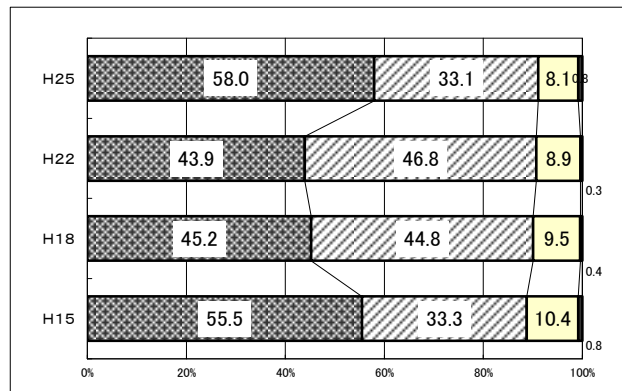
【ア】 「よくあてはまる」が H22 より 5 ポイント以上増加した項目】

よくあてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない

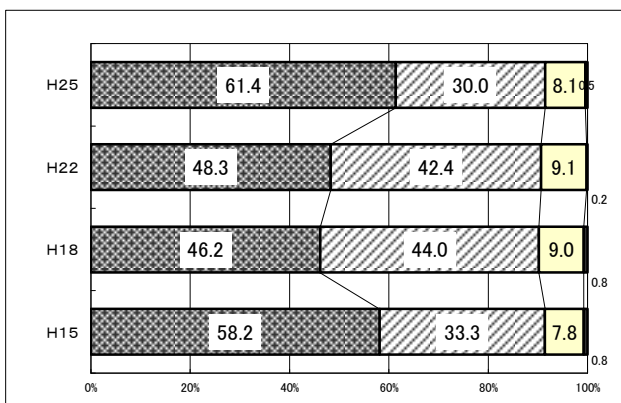
数 (簡単な数を数えたり、数で比べたり、順番を言ったりする。)



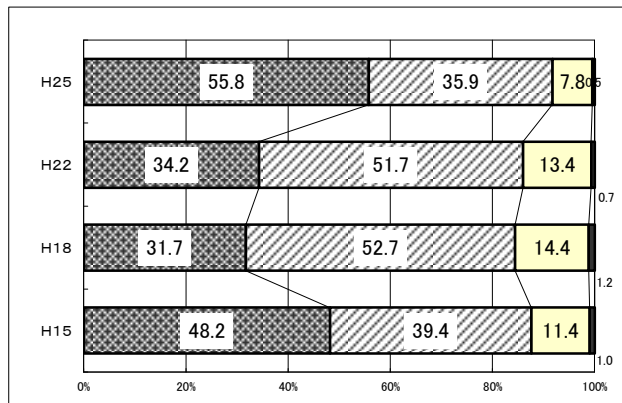
創作的表現 (いろいろな素材や用具を利用して、工夫して描いたり作ったりすることを楽しむ。)



音楽的表現 (みんななどいっしょに聴いたり、歌ったり、踊ったり、楽器を使ったりする楽しさを味わう。)

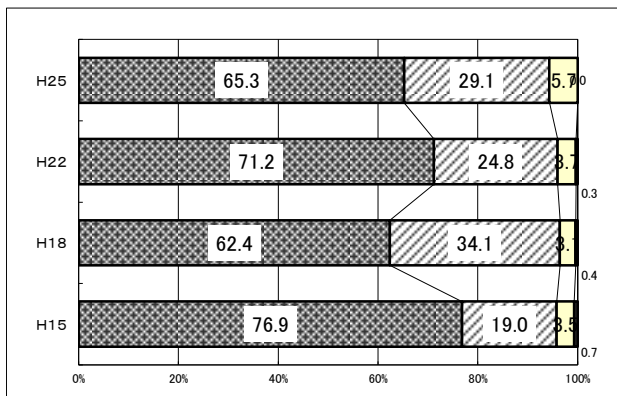


身体的表現 (自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じたりして楽しむ。)

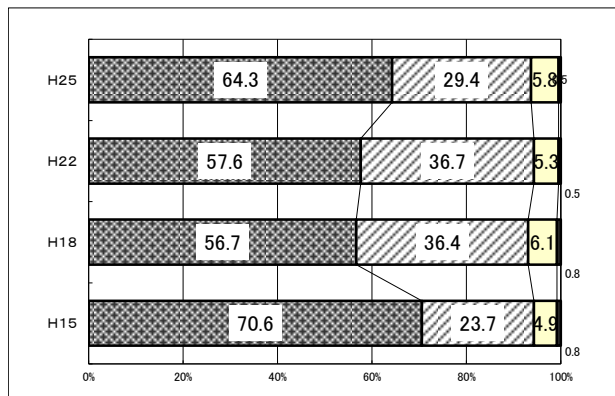


【 イ 「よくあてはまる」の上位3項目 】

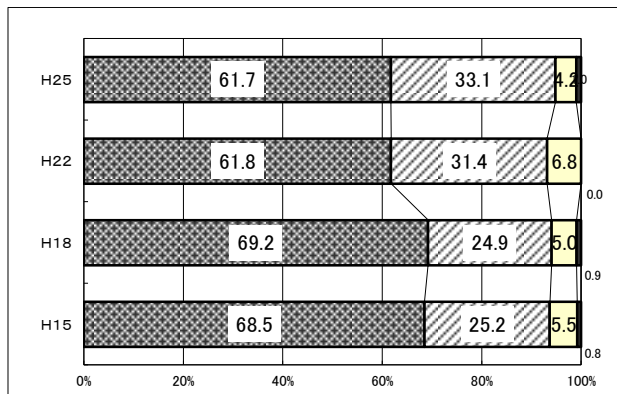
基本的な生活習慣 (身の回りの清潔, 衣服の着脱, 食事, 排泄など生活に必要な活動を自分でする。)



数 (簡単な数を数えたり, 数で比べたり, 順番を言ったりする。)

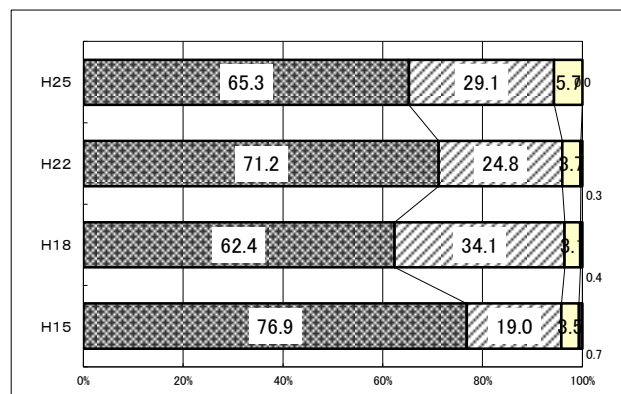


戸外遊び (積極的に戸外に出て遊ぶ。)

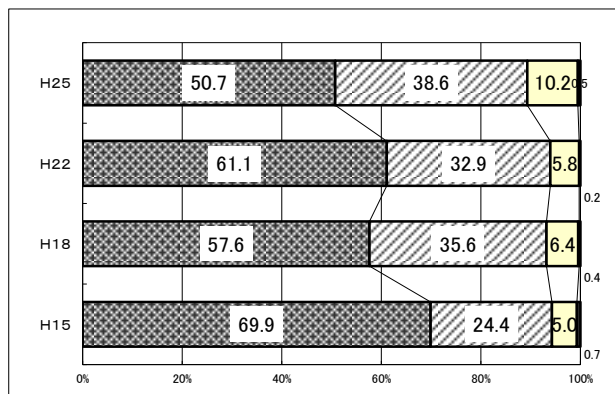


【 ウ 「よくあてはまる」がH22より5ポイント以上減少した項目 】

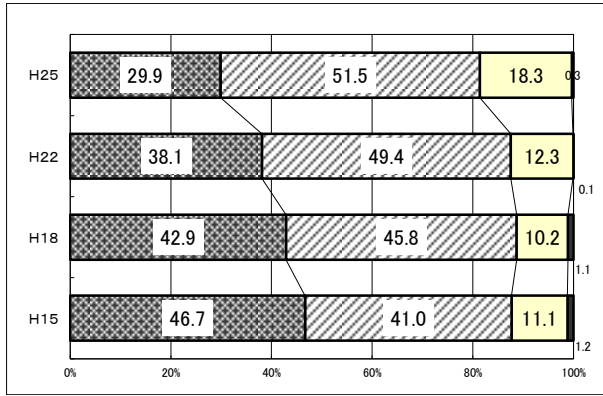
基本的な生活習慣 (身の回りの清潔, 衣服の着脱, 食事, 排泄など生活に必要な活動を自分でする。)



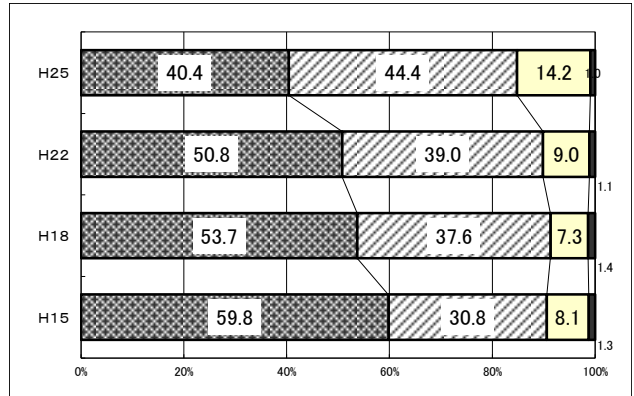
安全 (危険なものに近寄ったり, 危険な場所で遊ばないなど, 安全に気を付けて遊ぶ。)



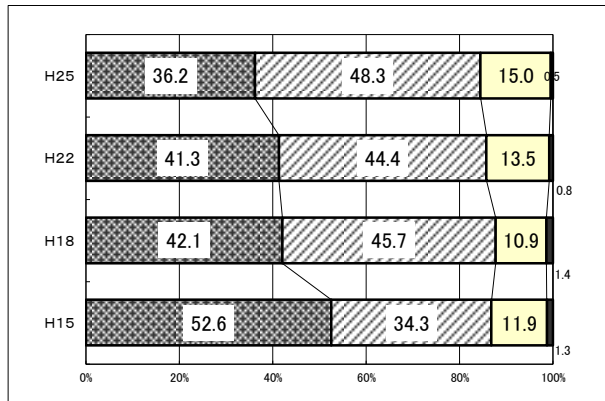
コミュニケーション (自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。)



善悪の判断 (よいことや悪いことがあることに気づき、考えながら行動する。)

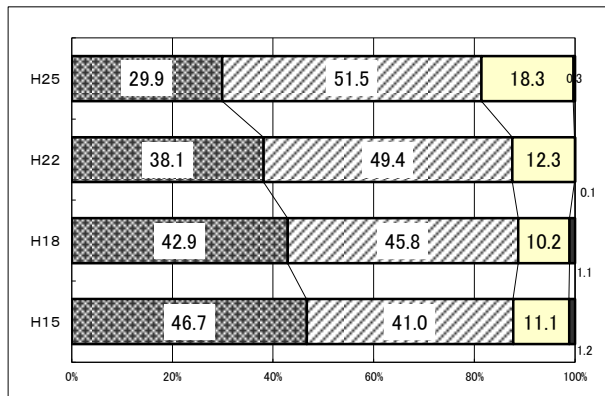


聞く・話す (人の話を注意して聞き、相手に分かるように話そうとする。)

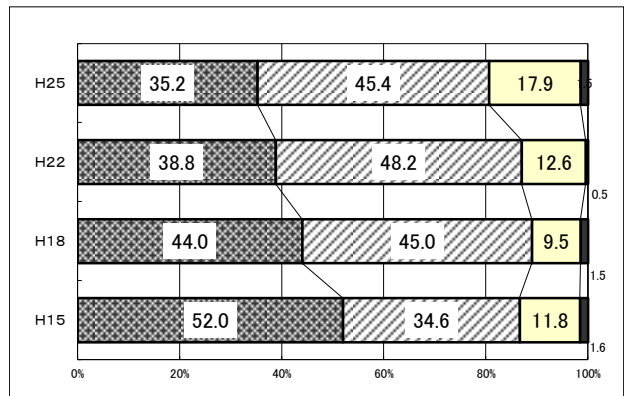


【 **エ** 「よくあてはまる」の下位3項目 】

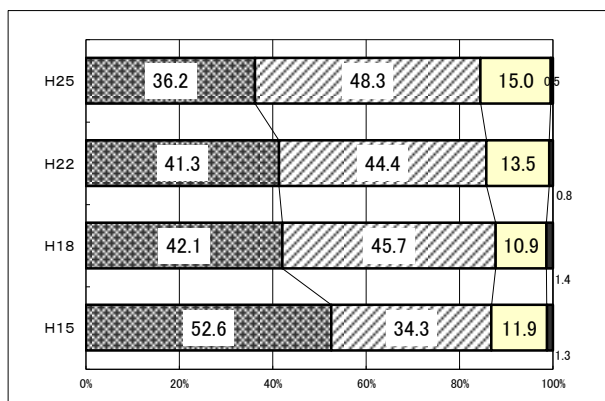
コミュニケーション (自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。)



整理整頓 (身近な物を大切に扱い、自分の持ち物を整頓する。)



聞く・話す (人の話を注意して聞き、相手に分かるように話そうとする。)



② 保護者観察調査の項目ごとの経年比較

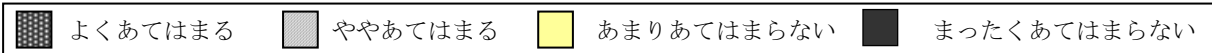
ア 平成 25 年度調査の「よくあてはまる」の割合が、22 年度調査と比較して 5 ポイント以上増加したのは、「コミュニケーション」「あいさつ」「身体表現」「きまり」「基本的生活習慣」「安全」である。

イ 平成 25 年度調査の「よくあてはまる」の割合の上位 3 項目は、「創作的表現」「音楽的表現」「読書」である。

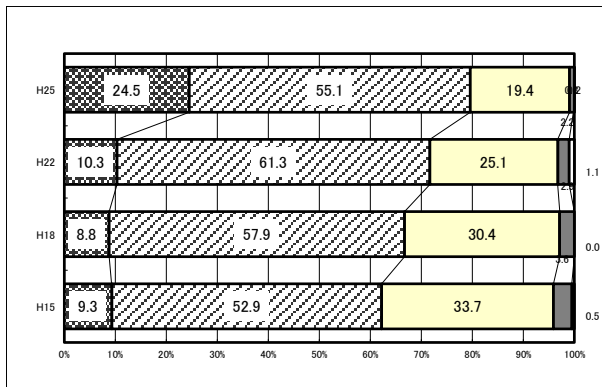
ウ 平成 25 年度調査の「よくあてはまる」の割合が、22 年度調査と比較して 5 ポイント以上減少したのは「聞く・話す」「善悪の判断」である。

エ 平成 25 年度調査の「よくあてはまる」の割合の下位 3 項目は、「整理整頓」「自然とのかかわり」「善悪の判断」である。

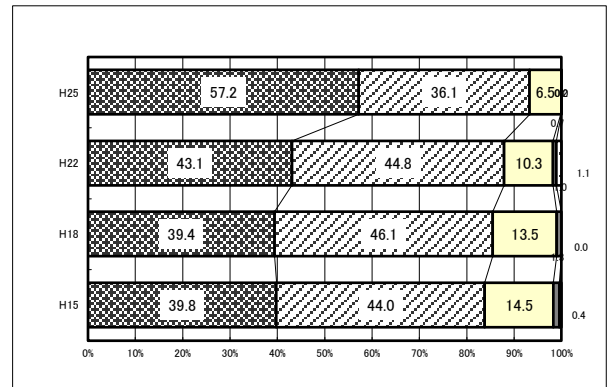
【ア】 「よくあてはまる」が H22 より 5 ポイント以上増加した項目】



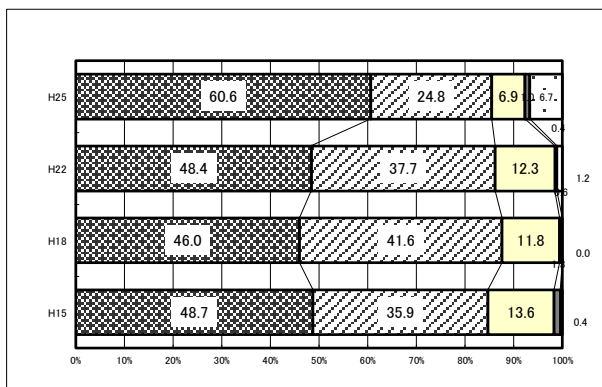
コミュニケーション (自分の思いを相手に分かるように伝え、相手の思いを理解しようとする。)



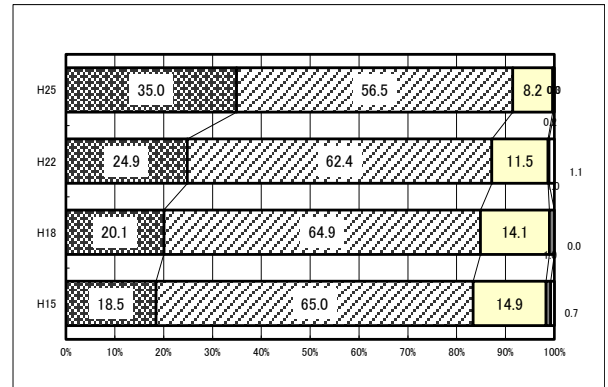
あいさつ (家族や周りの人に「おはよう」や「ありがとう」などのあいさつをする。)



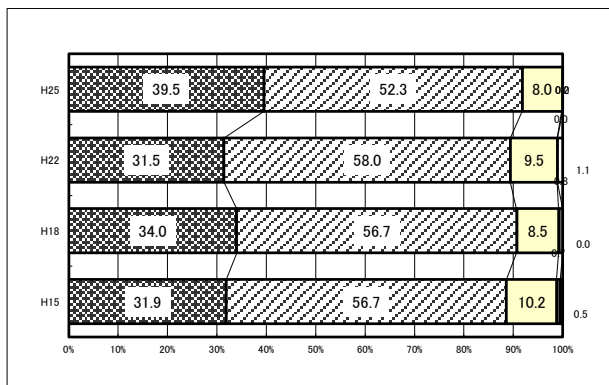
身体表現 (ごっこ遊びを楽しんだり、何かになりきって遊んだりする。)



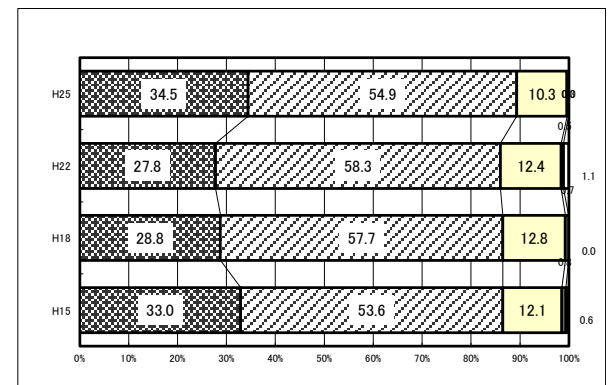
きまり (きまりを守って遊ぶ。)



基本的生活習慣 (自分の身の回りのことは自分でする。)

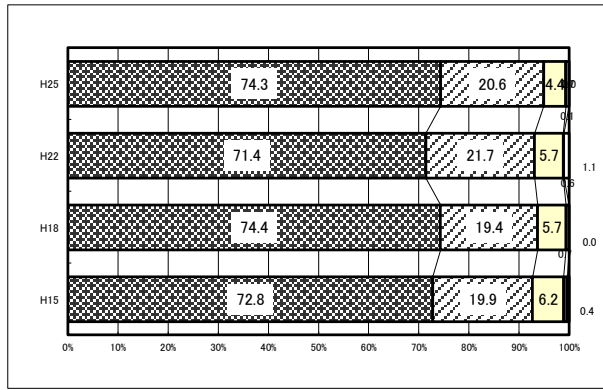


安全 (危険なものや危険な場所が分かり、気を付ける。)

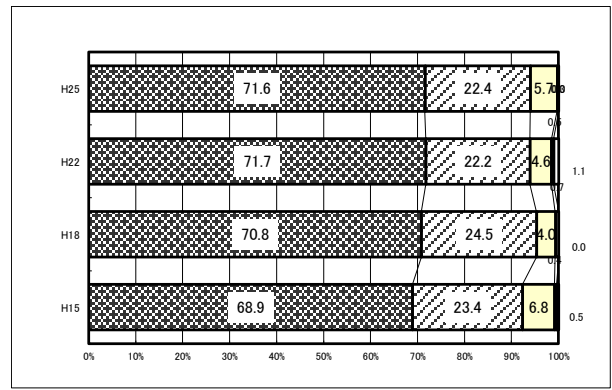


【イ 「よくあてはまる」の上位3項目】

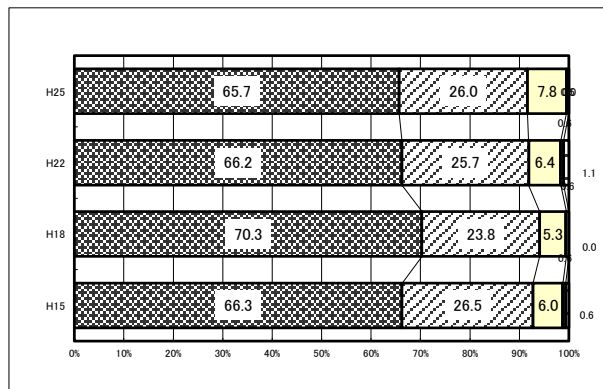
創作的表現 (絵をかいたり、はさみやのりなどを使ってものを作ったりして遊ぶ。)



音楽的表現 (楽しんで歌を聴いたり、歌ったり、音楽に合わせて踊ったりする。)

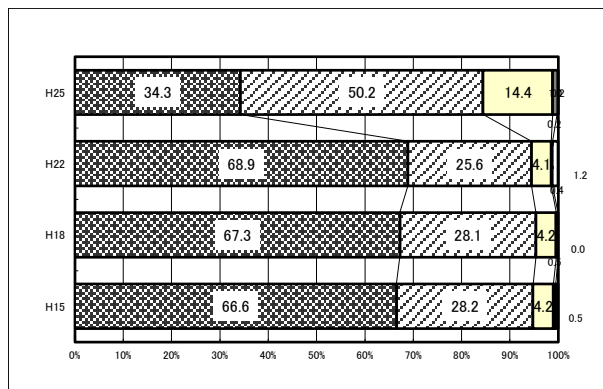


読書 (絵本を喜んで見たり聞いたりする。)

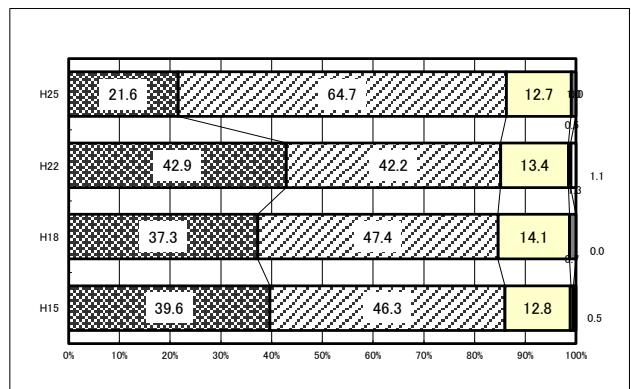


【ウ 「よくあてはまる」がH22より5ポイント以上減少した項目】

聞く・話す (人の話を聞き、相手に分かるように話そうとする。)

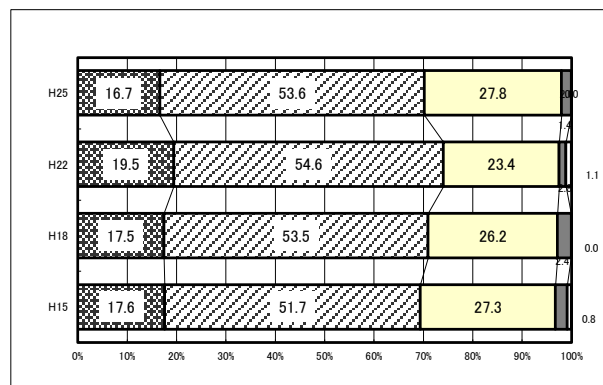


善悪の判断 (よいこと・悪いことが分かり、悪いことをしない。)

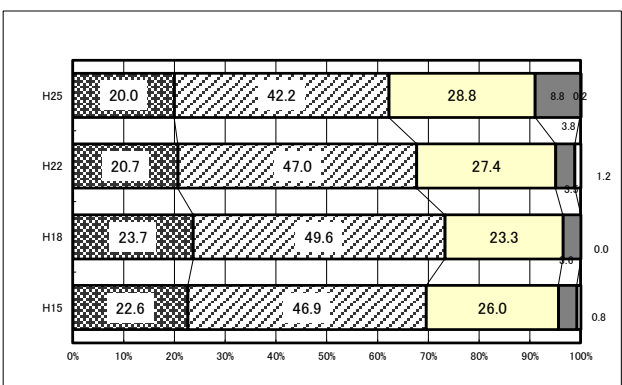


【エ 「よくあてはまる」の下位3項目】

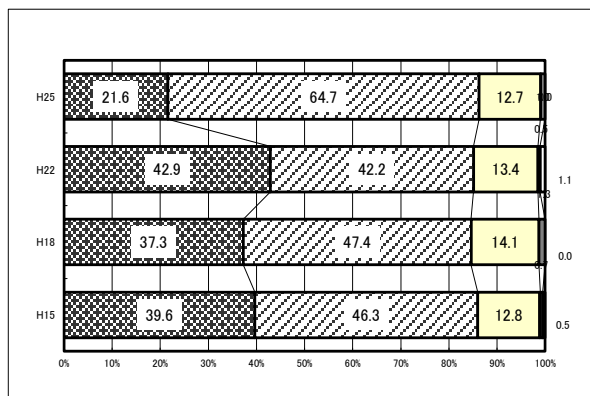
整理・整頓 (自分の使ったおもちゃなどを片付け、持ち物を大切にする。)



自然とのかかわり (身近な動物や植物などの世話をする。)



善悪の判断 (よいこと・悪いことが分かり、悪いことをしない。)



2 基本的な生活習慣の定着状況

保護者が行った生活習慣定着度調査について、項目ごとに平成 25・22・18・15 年度を比較して示した。

基本的な生活習慣の定着については、全ての項目において改善傾向にある。しかし、生活のリズムをつくる上で大切な、朝気持ちよく起きることについては、定着が十分とはいえない。

生活習慣定着度調査の経年比較 (保護者生活習慣定着度調査)

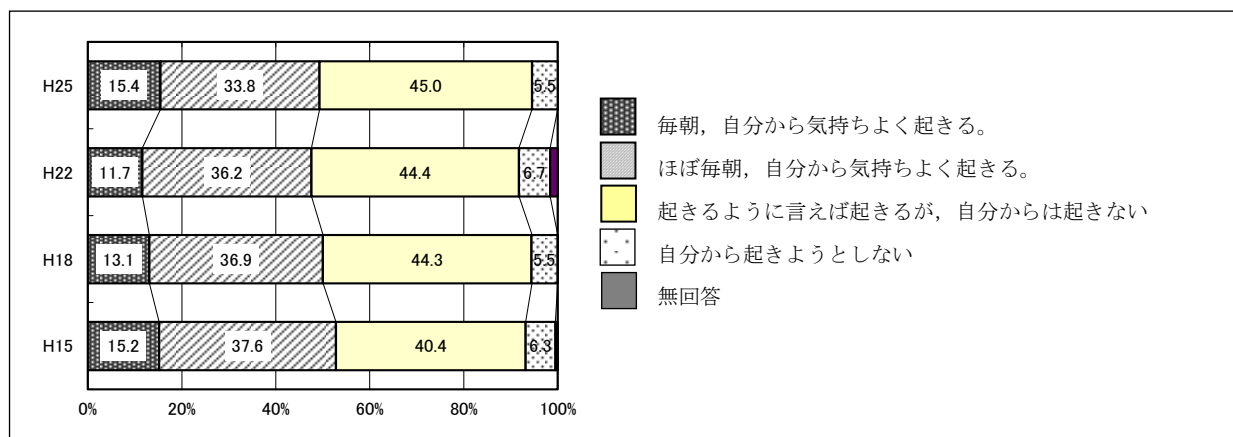
【ア】 平成 25 年度調査で、「自分からする」「ほぼ自分からする」を合わせた割合が平成 22 年度調査よりも増加した項目は「睡眠」「清潔」「着脱衣」「食事」「排泄」「就寝」の全ての項目である。そのうち、「就寝」は、平成 25 年度調査と平成 22 年度調査とを比較すると 4.8 ポイント増加している。

「テレビ・ゲーム」は、平成 25 年度調査と平成 22 年度調査を比較すると、2 時間以上テレビを見たりゲームをしたりする幼児は 15.3 ポイント減少している。

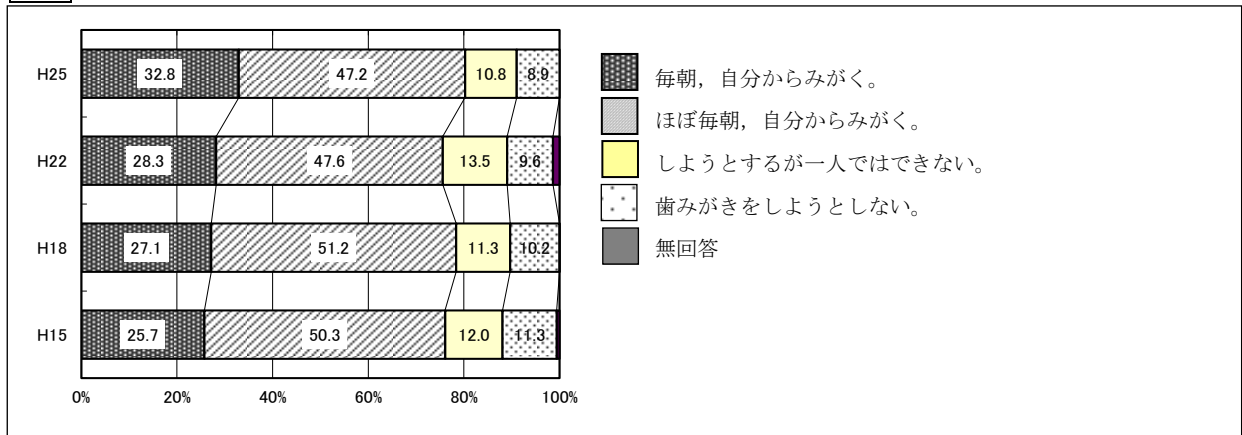
生活のリズムをつくる上で大切な、「朝気持ちよく起きる。」ことについては、1.3 ポイントの増加はあるが定着が十分とはいえない。

【ア】 「自分からする」「ほぼ自分からする」が H22 より増加した項目】

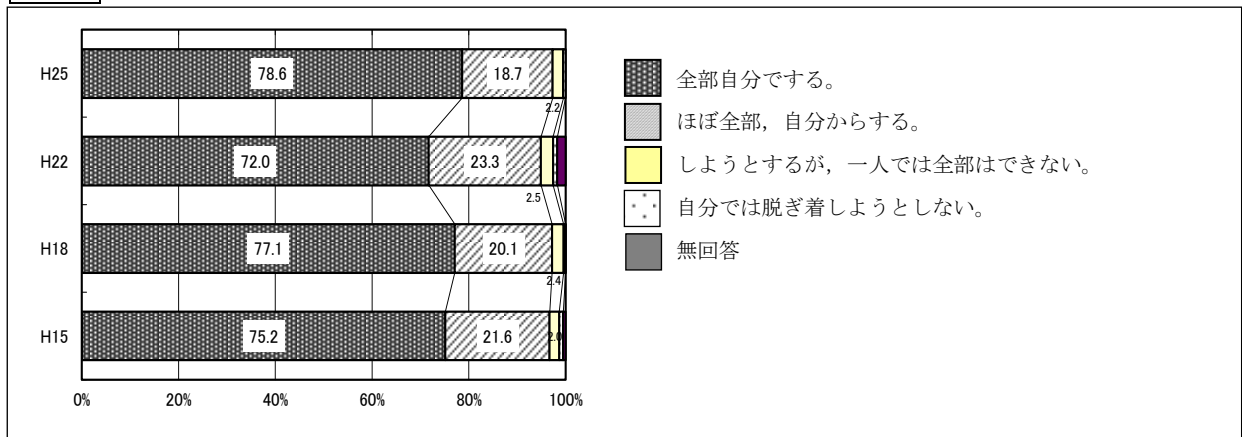
睡眠 (朝は、気持ちよく起きる。)



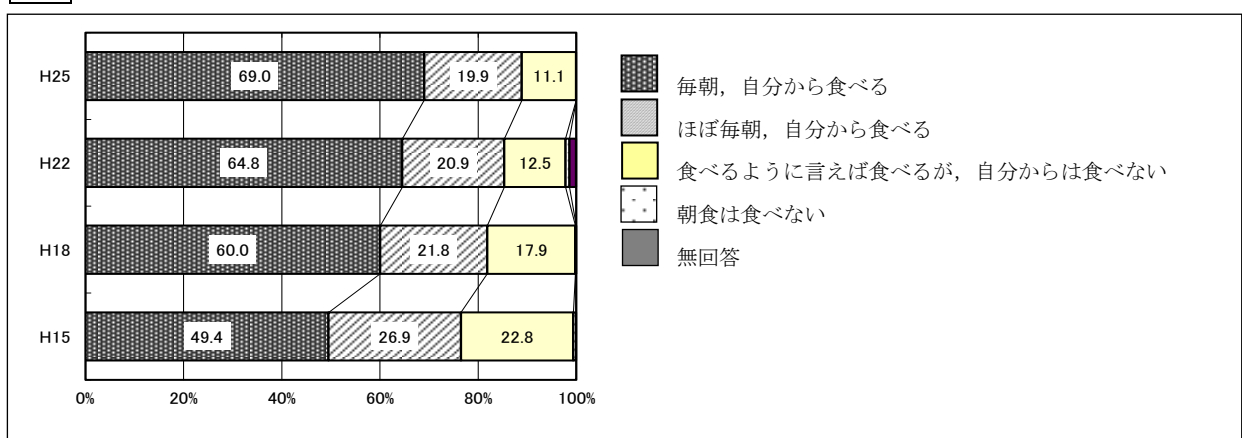
清潔 (歯磨きをする。)



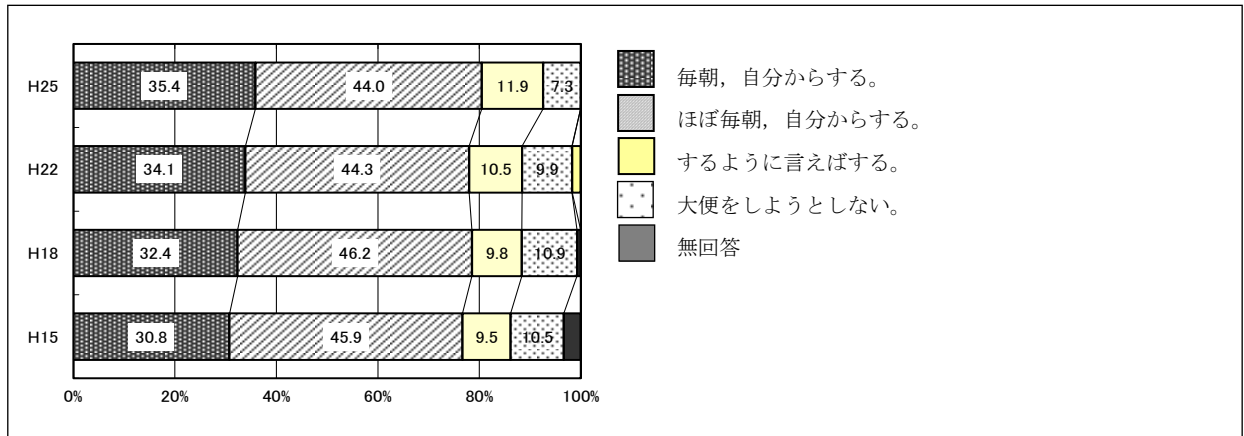
着脱衣 (パンツやシャツを脱ぎ着する。)



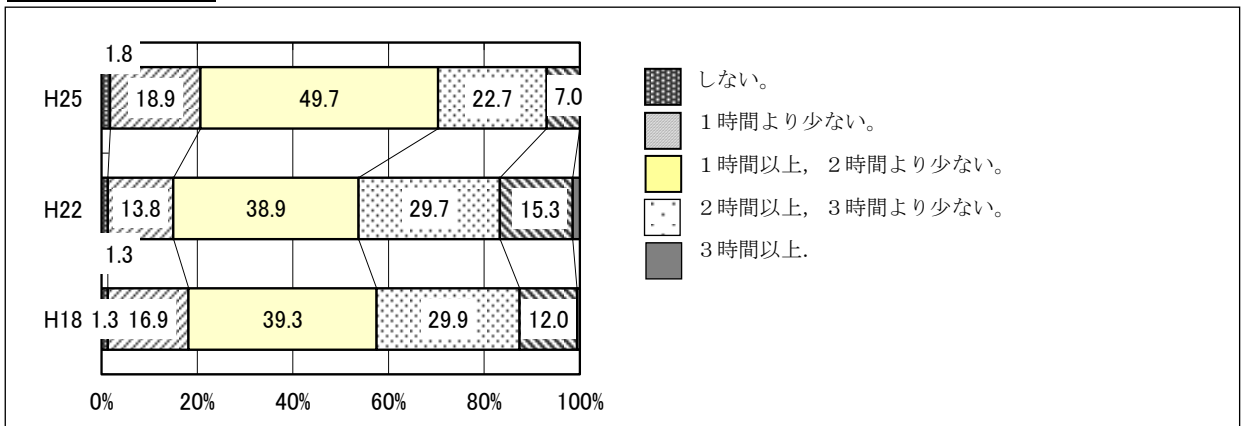
食事 (朝食を食べる)



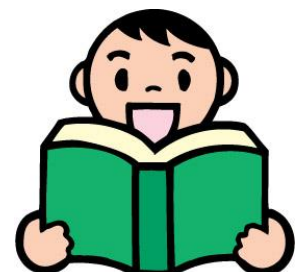
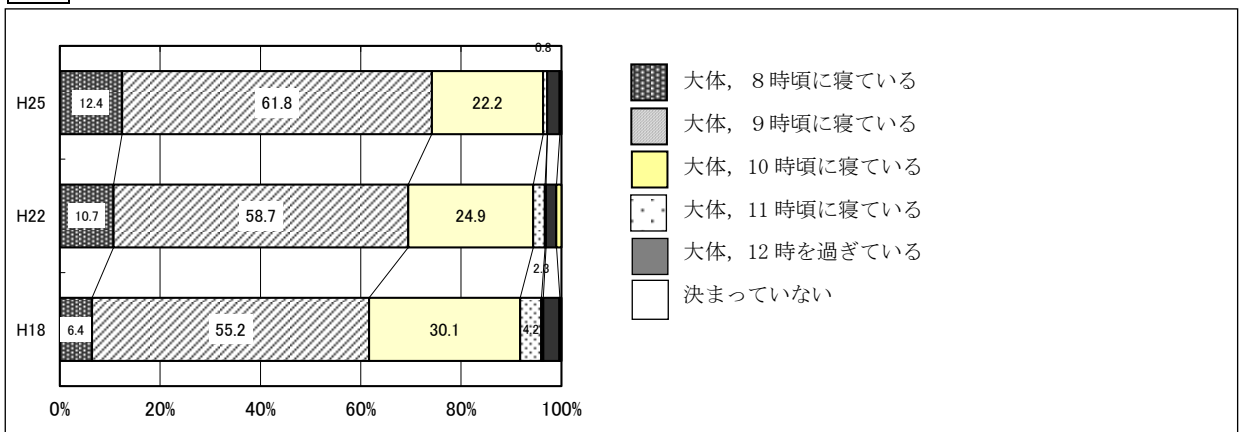
排泄 (大便をする。)



テレビ・ゲーム (テレビをみたり、ゲームをしたりする。)



就寝 (夜は、決まった時刻に寝る。)



3 幼児の指導に関する状況

表4では、「教員・保育士等」指導調査において、各領域で重点的に取り組んでいる内容の上位3項目を示し、表5は、認定こども園における幼稚園・保育所（園）と同様の重点的指導項目を参考として示した。

表6では、保護者指導調査において、家庭で特に大切にしている項目について示した。

(1) 幼稚園・保育所（園）・認定こども園で重点的に取り組んでいる内容

（「教員・保育士等」指導調査）

- 幼稚園・保育所（園）・認定こども園のそれぞれの上位3項目を比較すると、「健康」「環境」「言葉」「表現」の領域は同様の内容が2項目ずつ、「人間関係」の領域については、同様の内容が1項目ある。
- 認定こども園においても「健康」「言葉」の領域については同様の内容が2項目ずつ、「環境」「表現」の領域は同様の内容が1項目ずつある。「人間関係」の領域は、すべて異なっている。
※幼稚園・保育所（園）・認定こども園、それぞれの調査内容は、幼稚園教育要領・保育所保育指針に基づいて作成しているため、内容項目数や表現がすべて同じではない。

【表4 平成25年度の領域ごとの重点的指導内容】

領域	幼稚園	保育所
	重点的に取り組んでいる内容（上位3項目）	重点的に取り組んでいる内容（上位3項目）
健康	先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。	保育士等や友達と触れ合い、安定感をもって生活する。
	いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。	いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。
	様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。	健康な生活のリズムを身に付け、楽しんで食事をする。 身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。
人間関係	友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどする。	友達と一緒に活動する中で、共通の目的を見だし、協力して物事をやり遂げようとする気持ちを持つ。
	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。	安心できる保育士等との関係の下で、身近な大人や友達に感心を持ち、模倣して遊んだり、親しみを持って自ら関わろうとする。
	友達と楽しく生活する中でできまりの大切さに気付き、守ろうとする。	身近な友達との関わりを深めるとともに、異年齢の友達など、様々な友達と関わり、思いやりや親しみを持つ。
環境	身近な動植物に親しみをもって接し、生命の尊さに気付き、いたわったり、大切にしたりする。	身近な動植物に親しみを持ち、いたわったり、大切にしたり、作物を育てたり、味わうなどして、生命の尊さに気付く。
	身近な物や遊具に興味をもってかかわり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。	身近な物や遊具に興味を持って関わり、考えたり、試したりして工夫して遊ぶ。
	自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。	安心できる人的及び物的環境の下で、聞く、見る、触れる、嗅ぐ、味わうなどの感覚の働きを豊かにする。
	自然などの身近な事象に関心をもち、取り入れて遊ぶ。	
言葉	したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりしたことを自分なりに言葉で表現する。	したこと、見たこと、聞いたこと、味わったこと、感じたこと、考えたことを自分なりに言葉で表現する。
	絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう。	絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わう。
	先生や友達の言葉や話に興味や関心をもち、親しみをもって聞いたり、話したりする。	いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにする。
	人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。	
表現	感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりなどする。	感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりする。
	かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりなどする。	かいたり、つくったりすることを楽しみ、それを遊びに使ったり、飾ったりする。
	音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりなどする楽しさを味わう。	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。 保育士等と一緒に歌ったり、手遊びしたり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶ。

※各領域において、幼稚園と保育所（園）の内容に同様のものがあれば、網掛けをしている。

(参考)【表5 認定こども園における幼稚園・保育所(園)と同様の重点的指導項目】

領域	認定こども園
	重点的に取り組んでいる内容 (上位3項目)
健康	先生等や友達と触れ合い、安定感をもって生活する。
	いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。
	進んで戸外で遊ぶ。
	様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。
	認定こども園における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しを持って行動する。
人間関係	先生等や友達との安定した関係の中で、共に過ごすことの喜びを味わう。
	自分で考え、自分で行動する。
	自分でできることは自分です。
	自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。
	友達の良さに気付き、一緒に活動する楽しさを味わう。
	身近な友達との関わりを深めるとともに、異年齢の友達など、様々な友達と関わり、思いやりや親しみを持つ。
環境	身近な動植物に親しみを持ち、いたわったり、大切にしたり、作物を育てたり、味わうなどして、生命の尊さに気付く。
	自然に触れて生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く。
	自然などの身近な事象に関心を持ち、遊びや生活に取り入れようとする。
言葉	したこと、見たこと、聞いたこと、味わったこと、感じたこと、考えたことを自分なりに言葉で表現する。
	絵本や物語などに親しみ、興味を持って聞き、想像をする楽しさを味わう。
	先生等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみを持って聞いたり、話したりする。
	人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。
	生活の中で必要な言葉が分かり、使う。
	親しみを持って日常のあいさつをする。
表現	感じたこと、考えたことなどを音や動きなどで表現したり、自由にかいたり、つくったりする。
	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れて楽しむ。
	いろいろな素材や用具に親しみ、工夫して遊ぶ。

※各領域において、幼稚園・保育所(園)の内容と同様のものに網掛けをしている。



(2) 家庭教育で特に大切にしている内容（保護者指導調査）

- 家庭教育で特に大切にしていることは、平成 15 年度調査から平成 25 年度調査まで上位 2 項目の順位は変わっていない。

【表 6 保護者観察調査の集計】

家庭教育で特に大切にしていること	割合 (%)			
	H25	H22	H18	H15
家族や周りの人に「おはよう」「ありがとう」などのあいさつをする。	81.4	71.8	75.0	75.7
自分の身の回りのことは自分でする。	64.7	68.3	71.6	73.8
自分の使ったおもちゃなどを片づけ、持ち物を大切にする。	51.7	48.5	47.1	51.1
よいこと・悪いことがわかり、悪いことをしない。	47.9	19.2	24.4	20.8
自分の思いを相手に分かるように伝え、相手の思いを理解しようとする。	44.9	39.9	51.3	51.6
外で元気よく体を動かして遊ぶ。	40.3	27.9	33.6	30.0
危険なものや危険な場所が分かり、気を付ける。	38.8	57.2	54.2	59.0
きまりを守って遊ぶ。	35.0	67.5	63.8	72.2
人の話を聞き、相手に分かるように話そうとする。	26.9	15.5	13.9	12.2
絵本を喜んで見たり聞いたりする。	15.3	17.4	19.9	17.8
絵をかいたり、はさみやのりなどを使ってものを作ったりして遊ぶ。	14.9	13.6	11.3	10.8
日ごろ、友達とよく遊んでいる。(新規項目)	12.8			
楽しんで歌を聴いたり、歌ったり、音楽に合わせて踊ったりする。	9.3	7.7	6.0	6.0
身近な動物や植物などの世話をする。	4.5	5.7	7.9	9.3
数に興味をもち、数えたり、比べたり、順番を言ったりする。	4.5	4.8	7.1	4.0
ごっこ遊びを楽しんだり、何かになりきって遊んだりする。	3.8	1.2	0.9	1.1

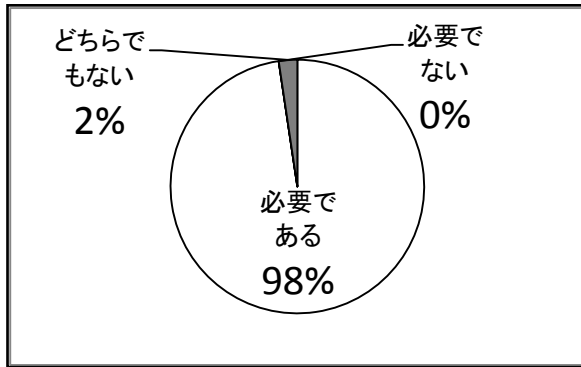
※家庭で教育する上で特に大切にしていることを、平成 25 年度の調査の上位からならべた。



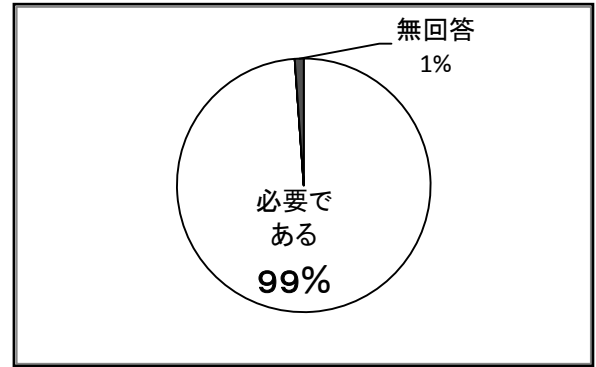
4 幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の連携

(1) 連携の必要性

[幼稚園・保育所（園）・認定こども園]

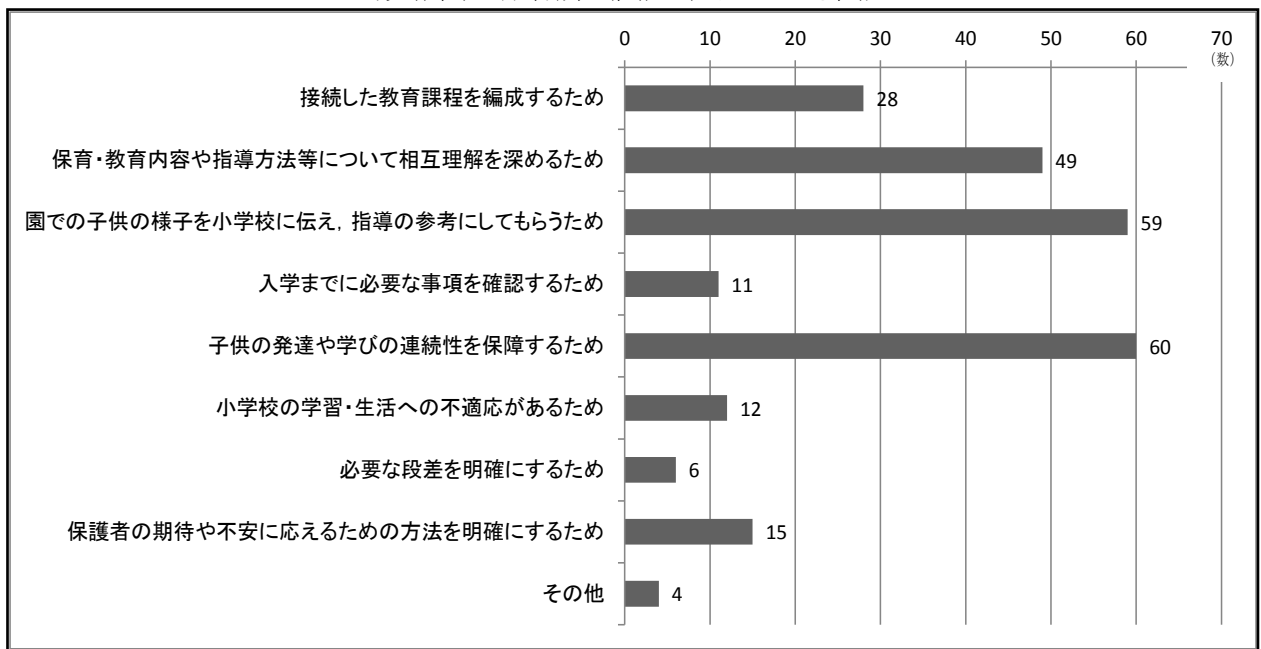


[小学校]

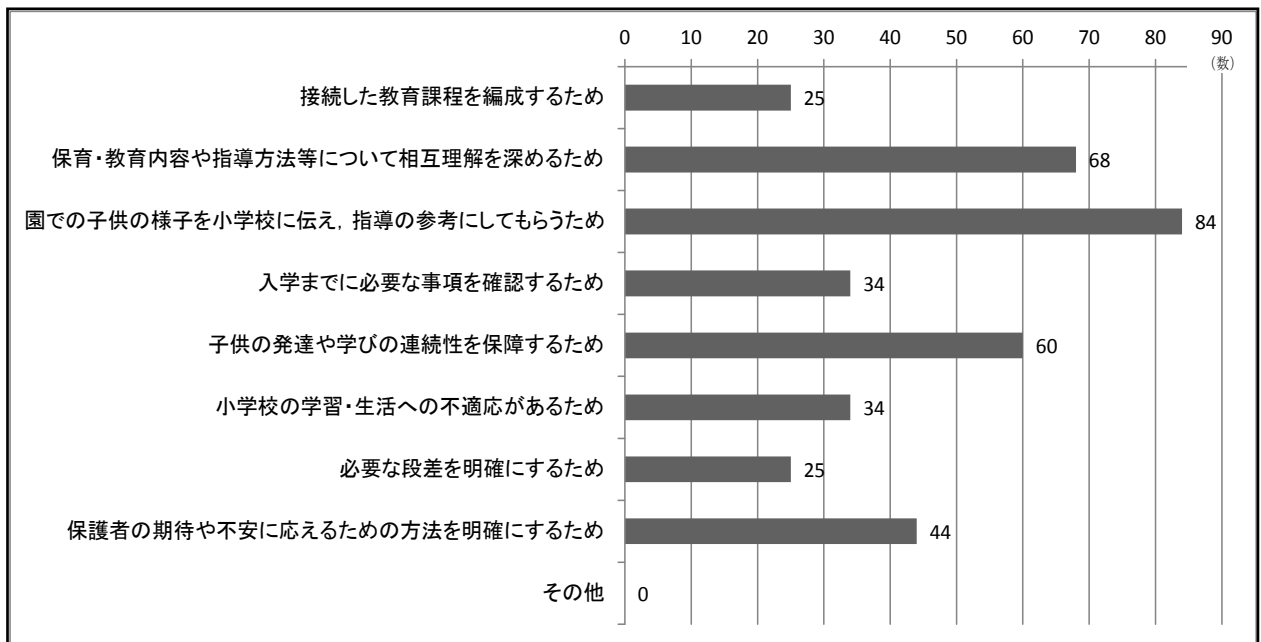


(2) 連携が必要な理由（複数回答）

[幼稚園・保育所（園）・認定こども園]

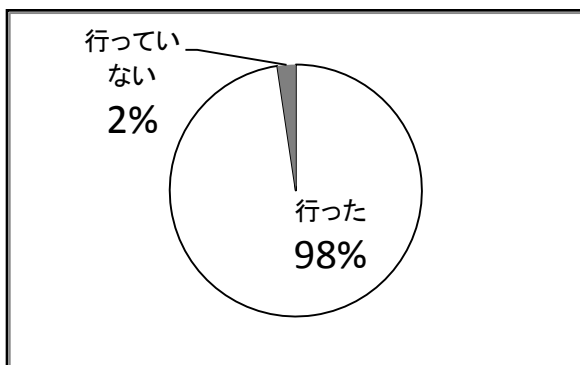


[小学校]

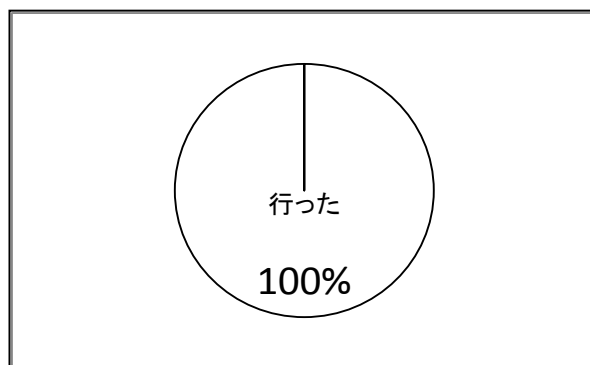


(3) 連携の実施

[幼稚園・保育所（園）・認定こども園]



[小学校]

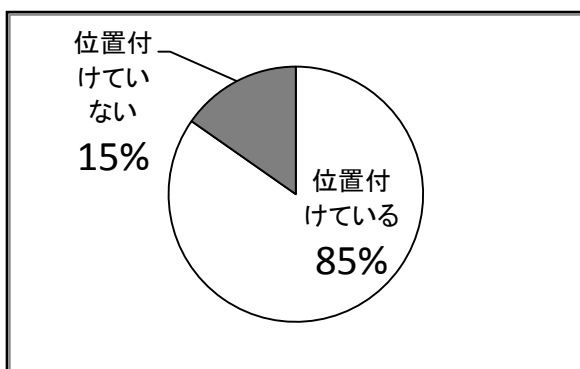


[連携を行っていない理由]

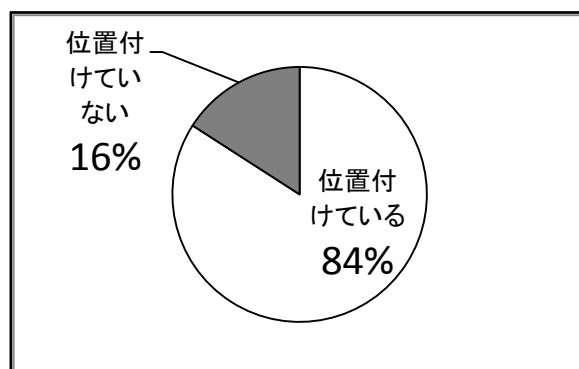
- ・何をやれば効果的なのか具体的な取組がよく分からないから
- ・時間的な余裕がないから

(4) 分掌の中の連携（交流）担当者の位置付け

[幼稚園・保育所（園）・認定こども園]

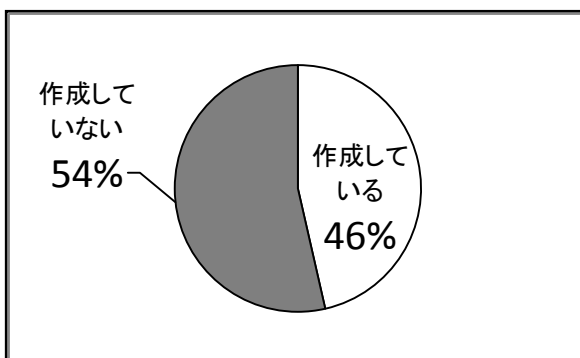


[小学校]

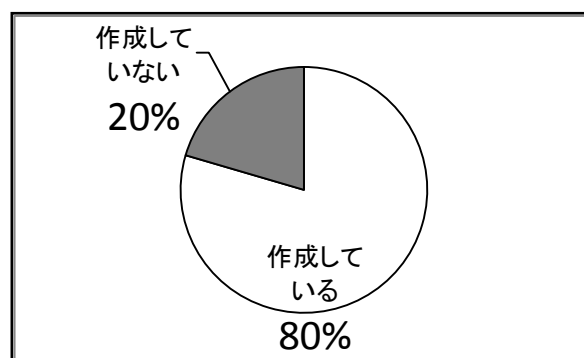


(5) 年間連携（交流）計画の作成

[幼稚園・保育所（園）・認定こども園]



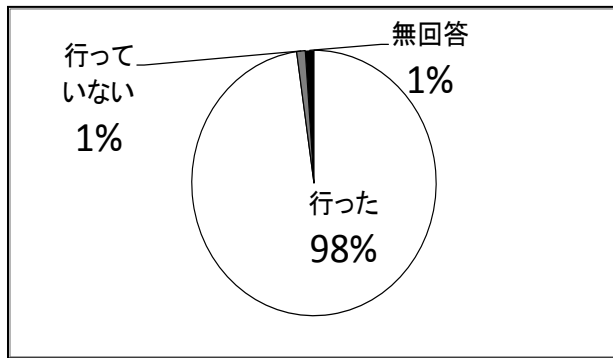
[小学校]



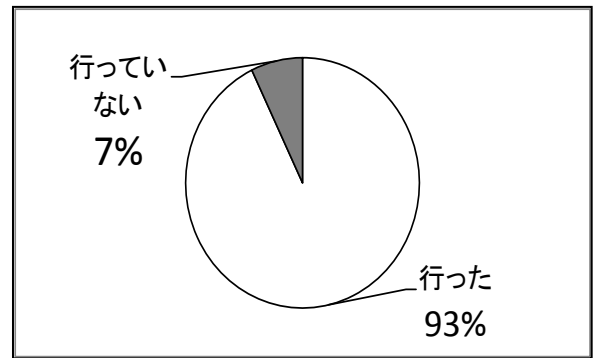
5 幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の交流

(1) 平成25年度における交流の実態

[幼稚園・保育所（園）・認定こども園]

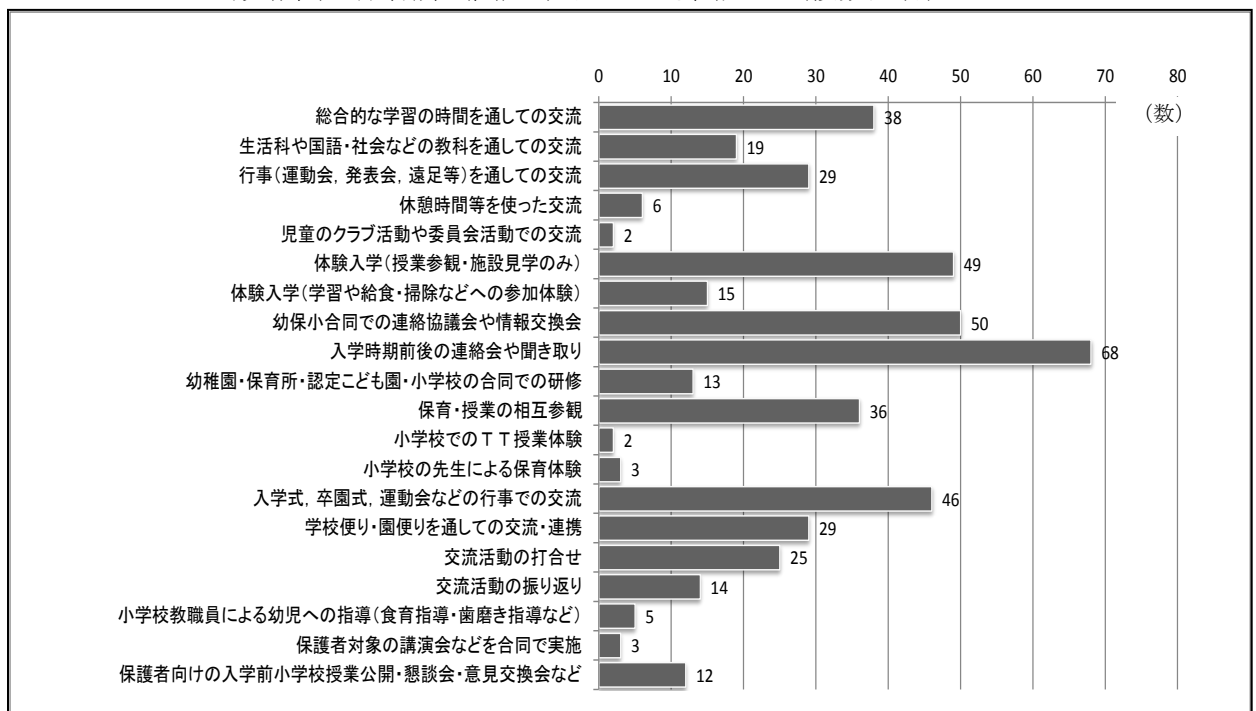


[小学校]

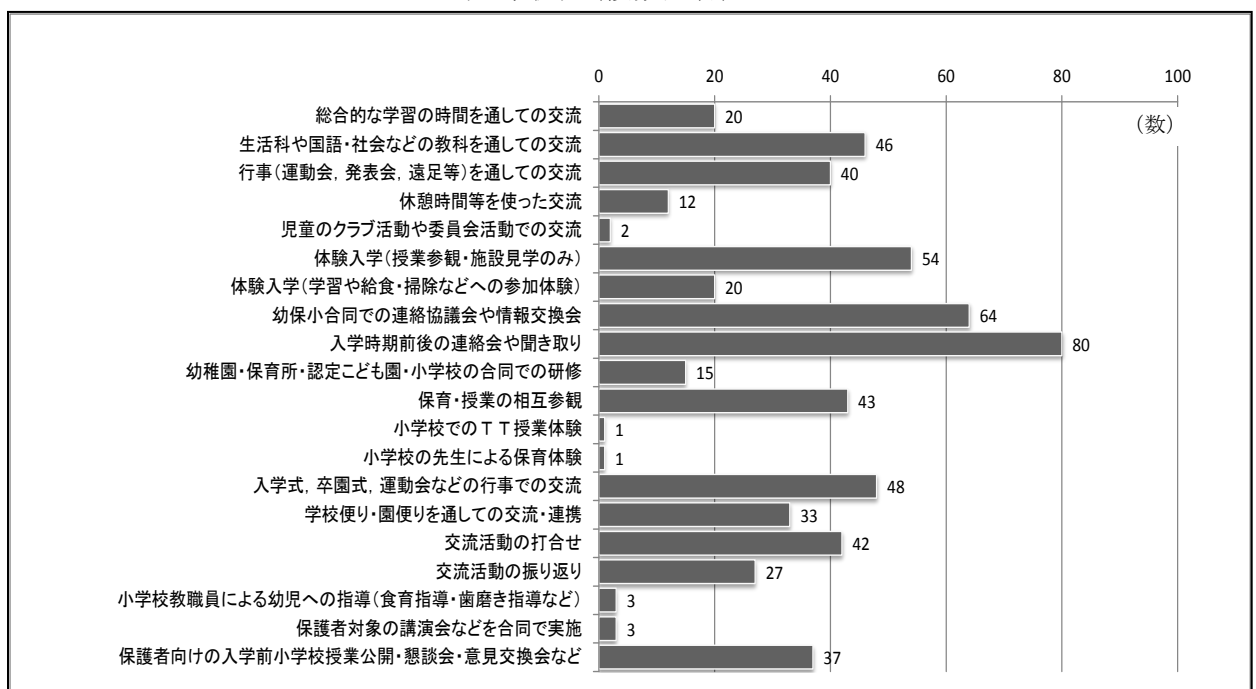


(2) 交流の内容

[幼稚園・保育所（園）・認定こども園] (複数回答)

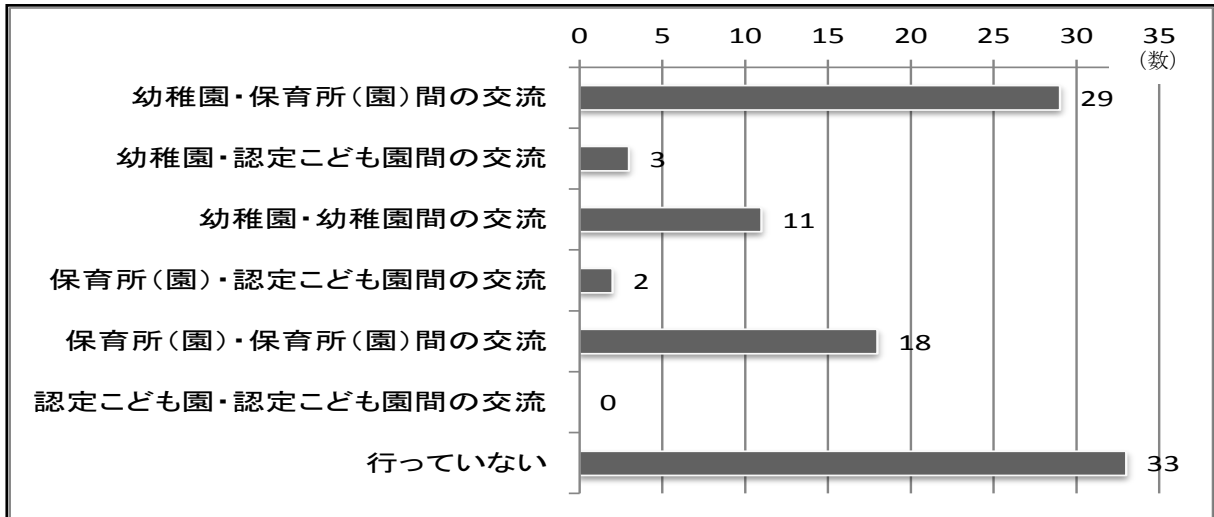


[小学校] (複数回答)

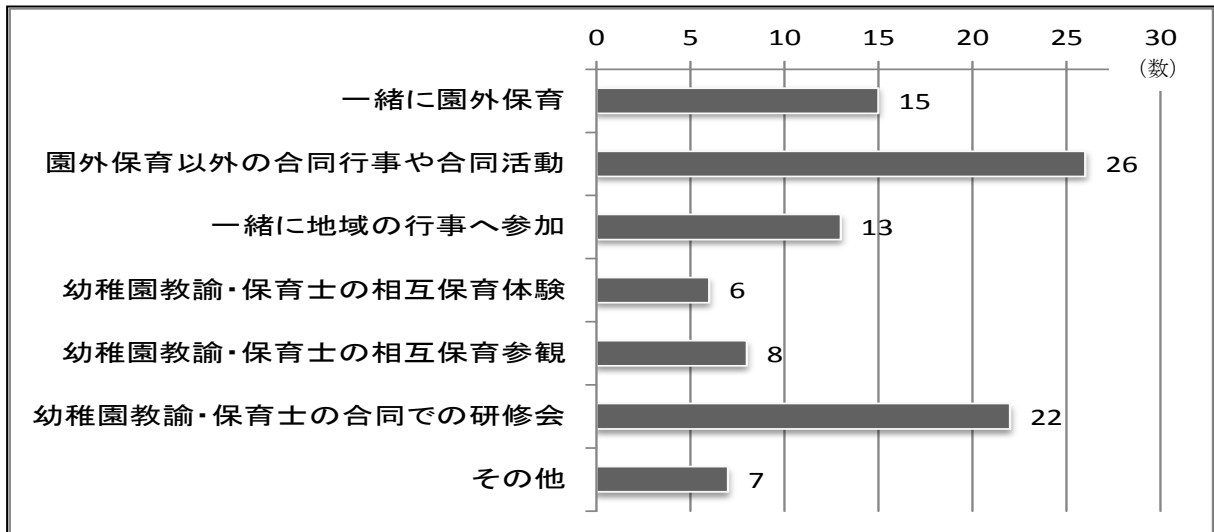


6 幼稚園・保育所（園）・認定こども園との交流

(1) 他園（所）との交流（複数回答）



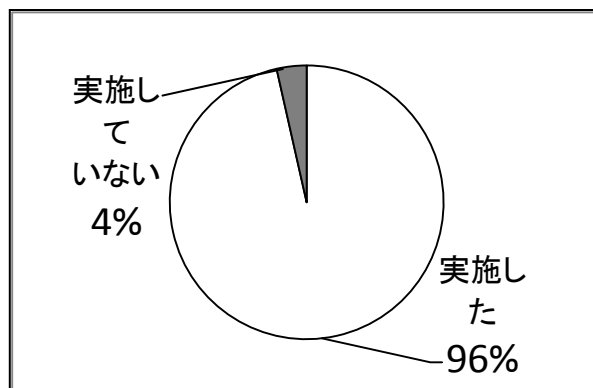
(2) 交流の内容（複数回答）



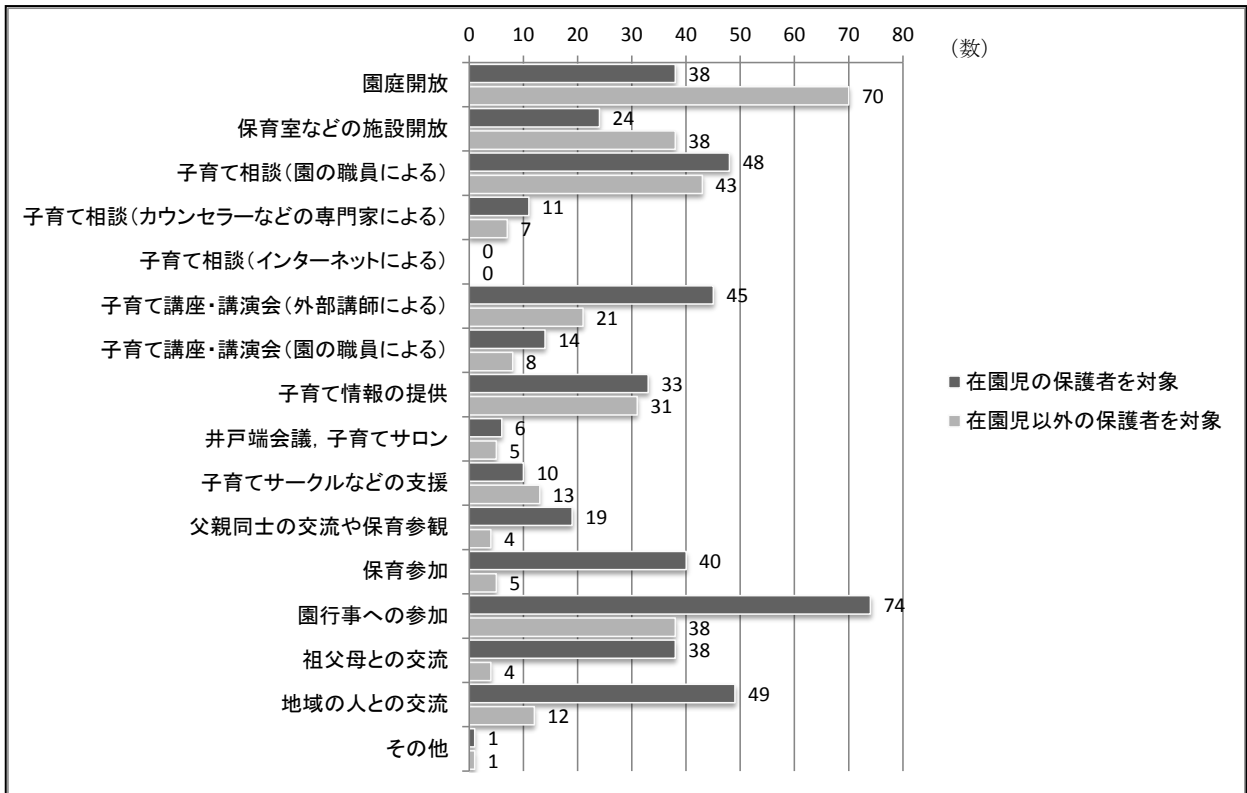
7 子育ての支援

(1) 平成25年度における子育ての支援の実施

[幼稚園・保育所（園）・認定こども園]

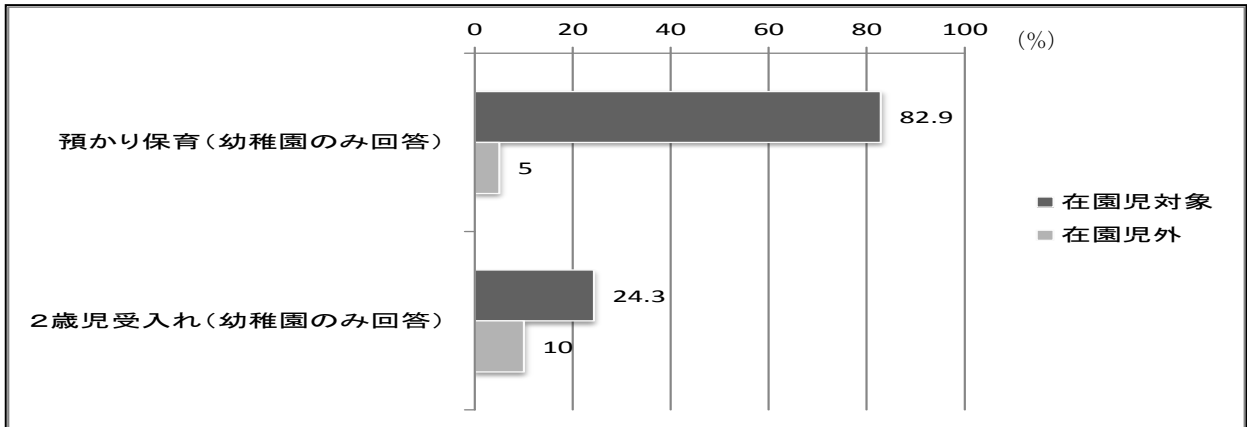


(2) 子育ての支援の具体的内容（複数回答）



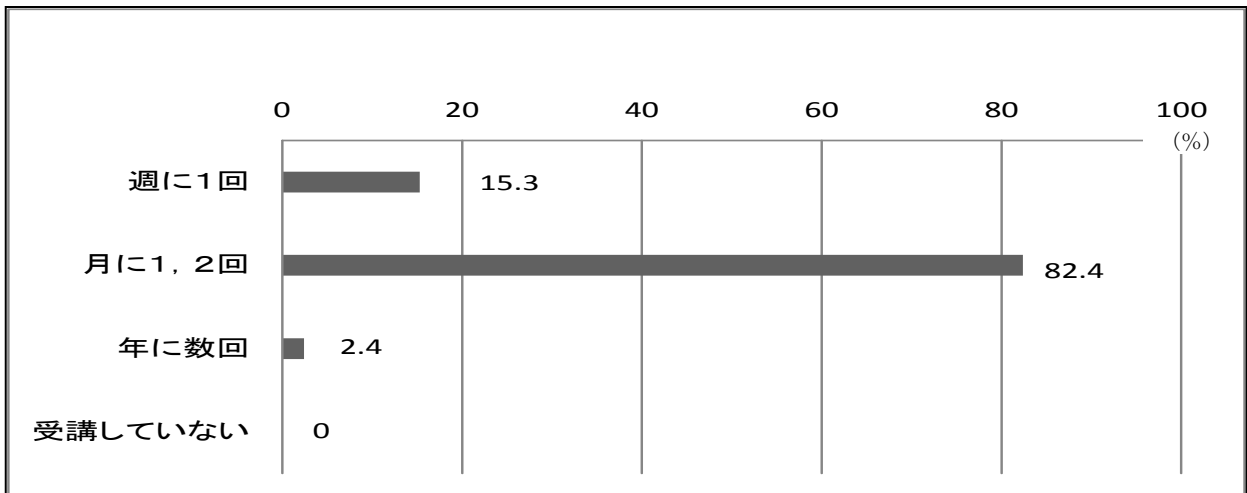
(3) 預かり保育・2歳児受入れの実施

[幼稚園のみ回答]

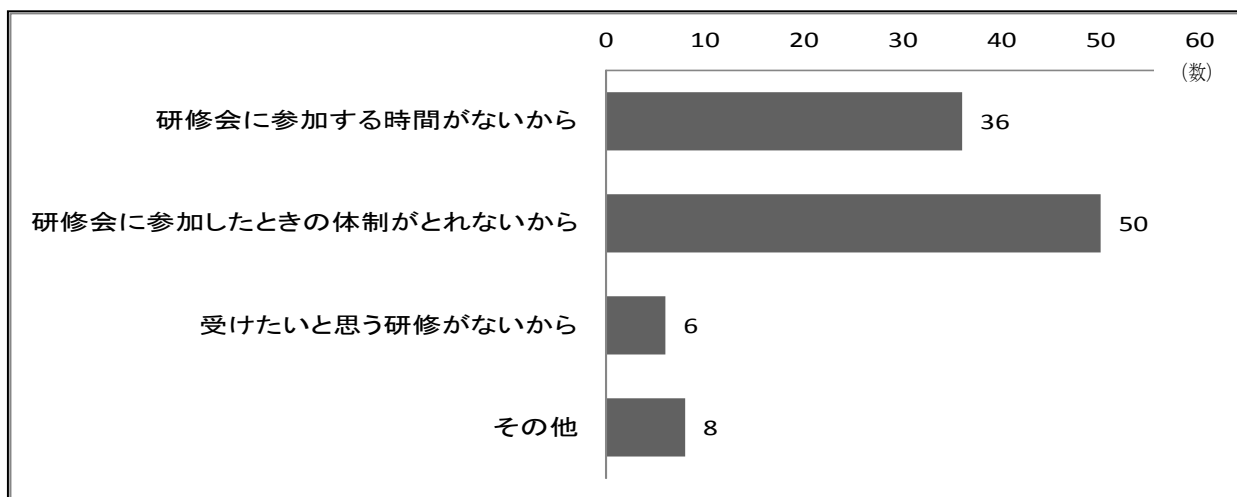


8 「教員・保育士等」の研修

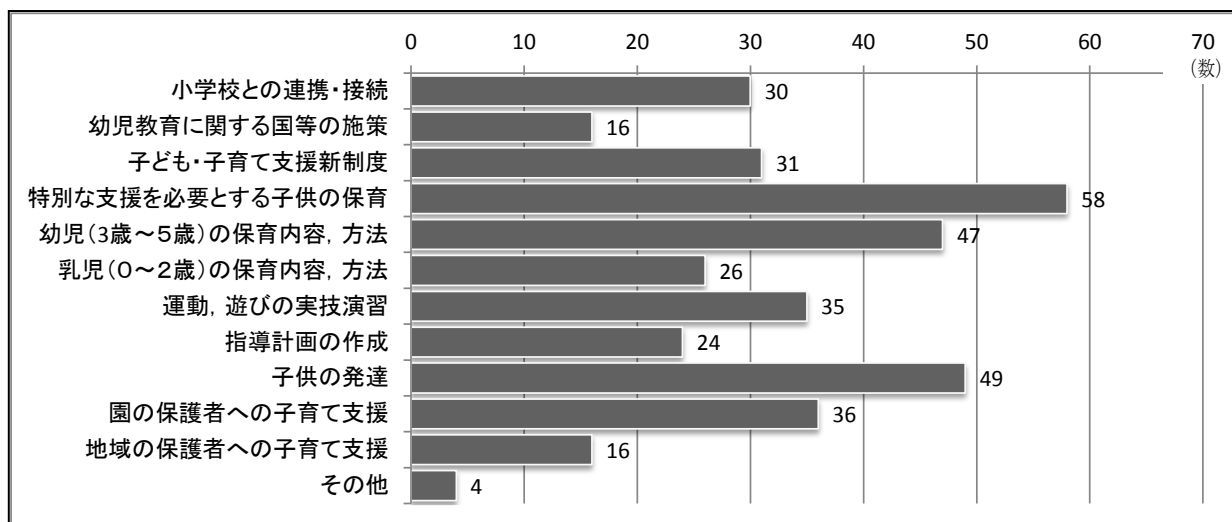
(1) 一人の「教員・保育士等」が園外研修を受講する頻度



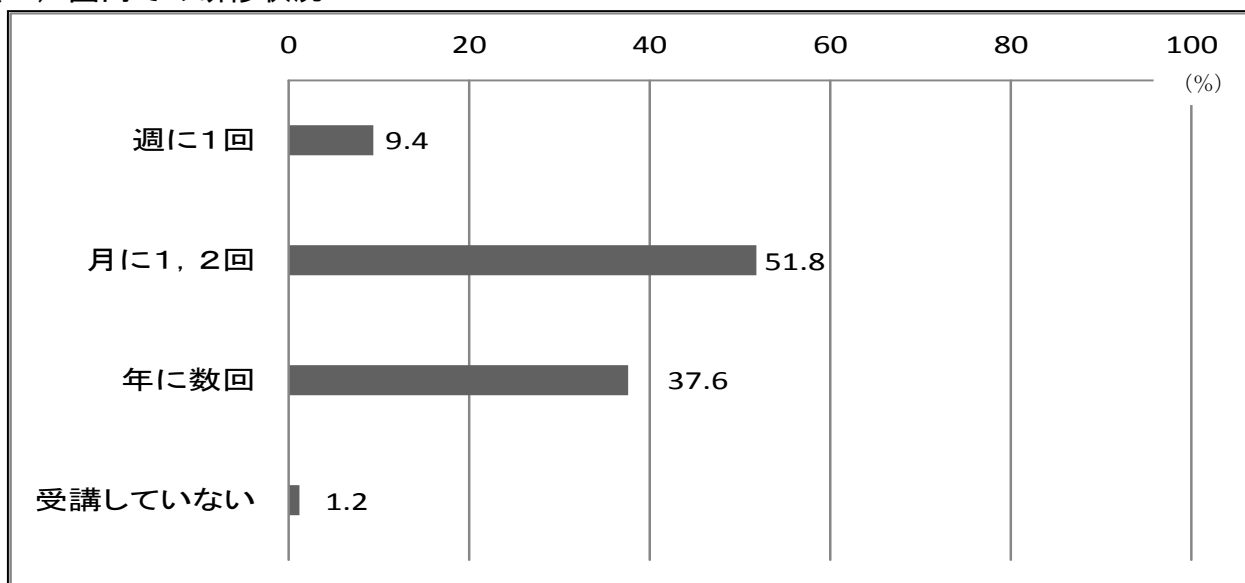
(2) 園外研修を受講する頻度が「年に数回」「受講していない」理由



(3) 「教員・保育士等」が受講する研修として、特に必要な内容（複数回答）

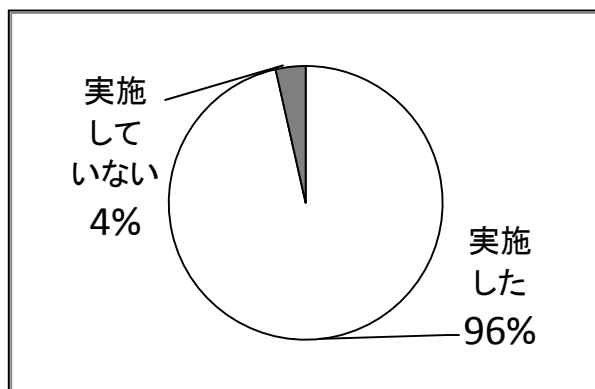


(4) 園内での研修状況

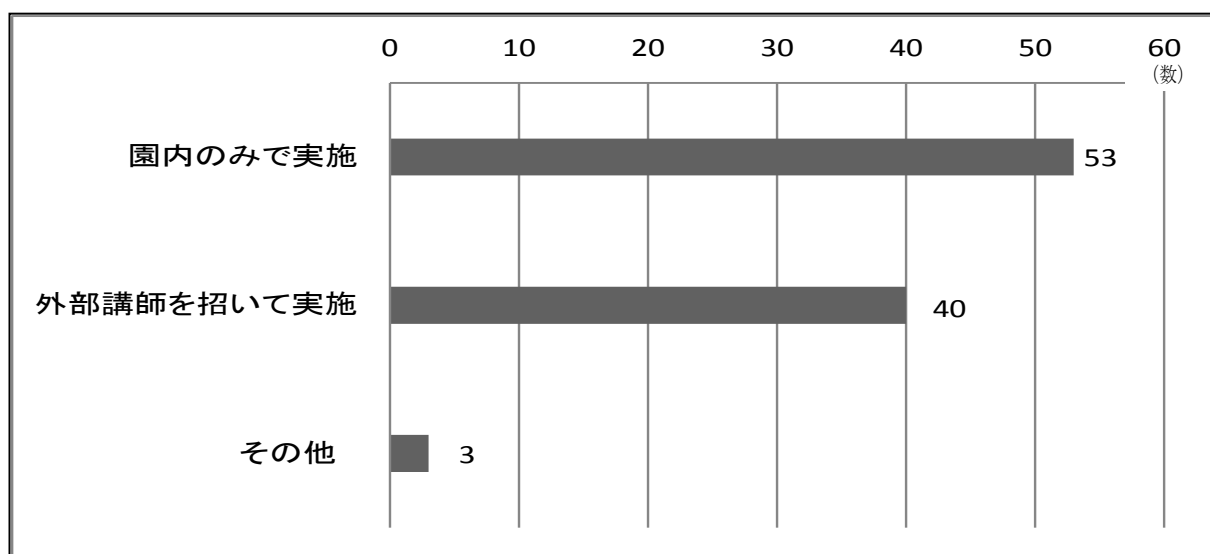


(5) 保育研究を中心とした園内での研修実施状況

[幼稚園・保育所(園)・認定こども園]



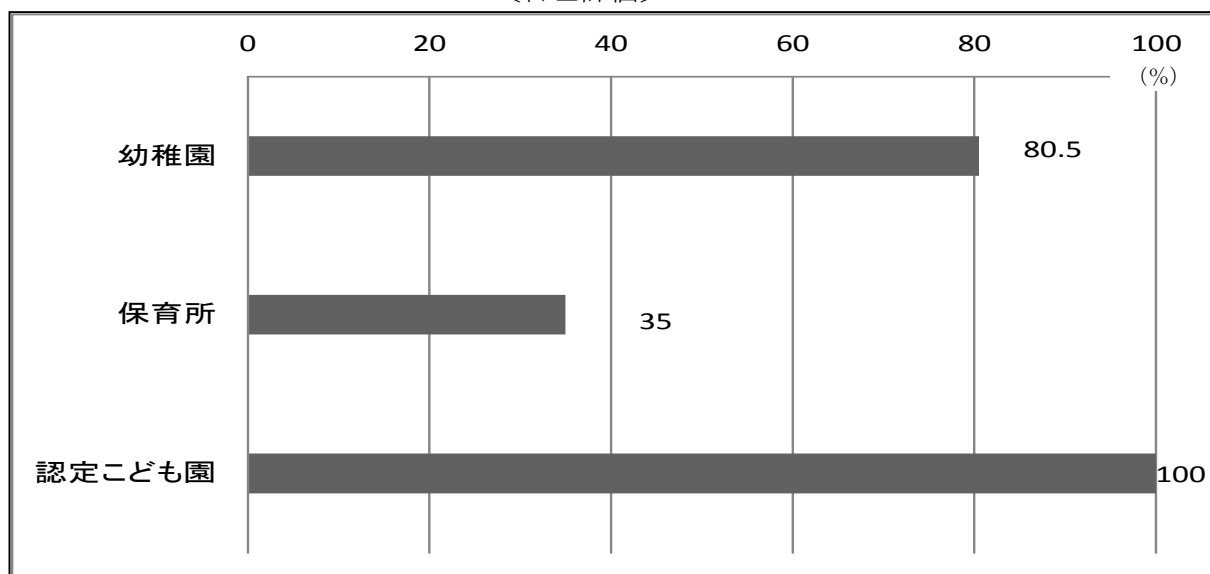
[どのような保育研究を実施したか(複数回答)]



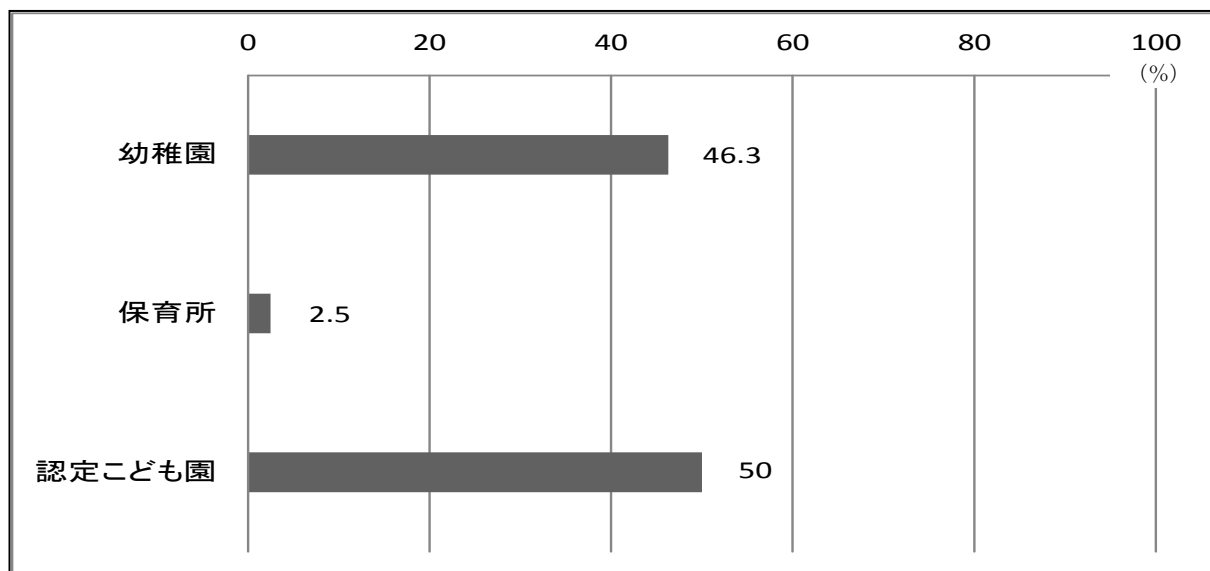
9 学校評価

(1) 学校評価(自己評価, 学校関係者評価, 第三者評価)の実施

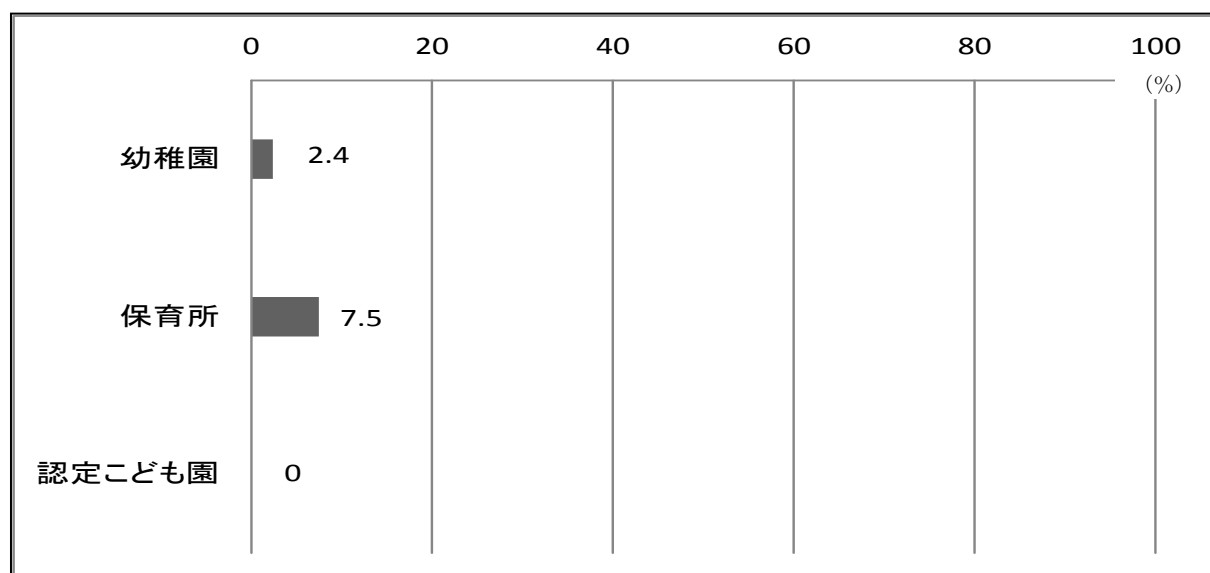
[自己評価]



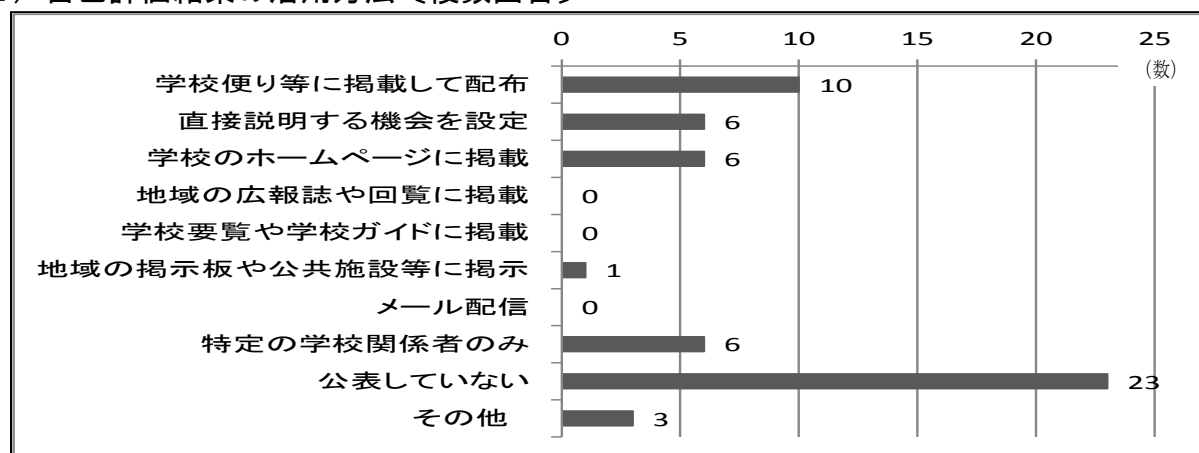
[学校関係者評価]



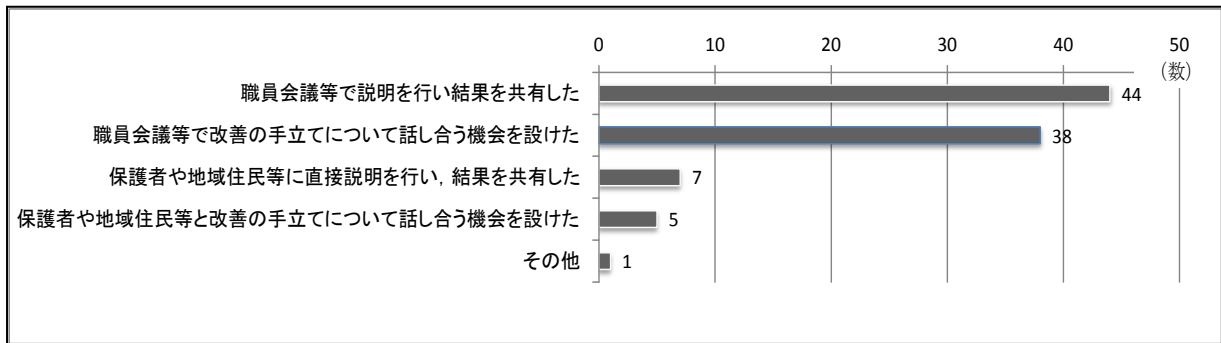
[第三者評価]



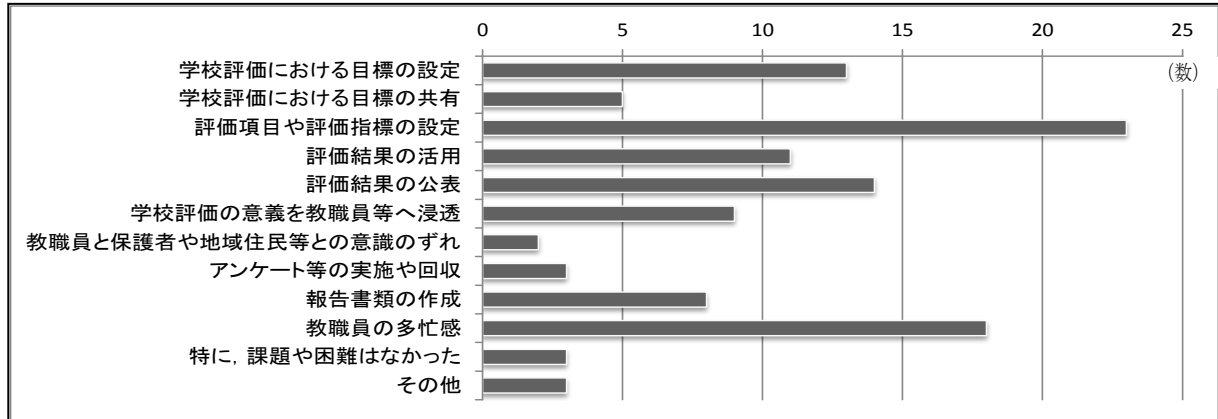
(2) 自己評価結果の活用方法 [複数回答]



(3) 自己評価結果の保護者や地域住民等への公表



(4) 自己評価に関して課題あるいは困難があったと感じられた点

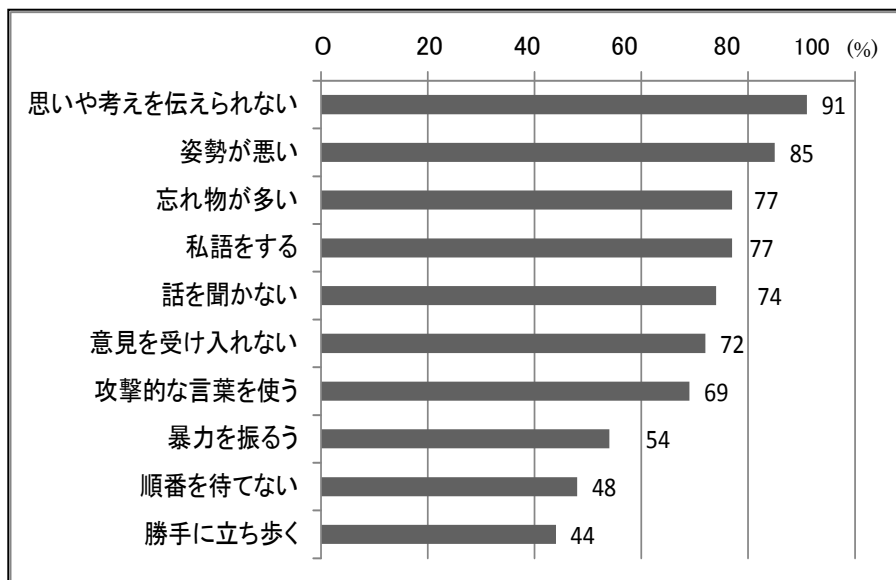


10 学校生活への不適応の状況

(1) 最近の1年生の状況で特に気になること

(各事項について、「よく」「やや」「あまり」「まったく」の4段階で選択)

分類	事項
自制心	他の児童に対してすぐに暴力を振るう児童がいる。
	他の児童に対して攻撃的な言葉を使う児童がいる。
基本的な生活習慣	注意してもすぐに私語をする児童がいる。
	授業中の姿勢が悪い児童がいる。
	先生や他の児童の話を聞かない児童がいる。
	忘れものが多い児童がいる。
規範意識	授業中に勝手に立ち歩く児童がいる。
	順番を待つことができない児童がいる。
人間関係	自分の思いや考えをうまく伝えることができない児童がいる。
	自分の意見は主張するが、相手の意見を受け入れようとしない児童がいる。



◇ 10項目中7項目において、6割以上の学校があると回答している。

◇ 「自分の思いや考えをうまく伝えられない」「姿勢が悪い」などの『人間関係』『基本的な生活習慣』に関する事項の割合が最も高くなっている。

【図5 「最近の1年生の状況で特に気になること」がある（「よく」「やや」）と回答した学校の割合】